



スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会長



バスケットボール競技 成年女子 優勝 秋田県選抜



あきた鹿角国体の横断幕を掲げ入場行進する本県選手団



現地激励会、誓いの言葉 なぎなた競技 佐々木美紀(大曲農高)

(写真提供：秋田魁新報社)

contents

- ◎あの感動が再び鹿角へやってくる!!
『あきた鹿角国体2013』 2
- ◎第68回国民体育大会冬季大会スキー競技会
あきた鹿角国体2013に向けて 4
- ◎2012 ぎふ清流国体グラビア 6
- ◎第67回国民体育大会(本大会)入賞者一覧 7
- ◎第67回国民体育大会成績と昨年度比較 8
- ◎秋田国体以降の本県の天皇杯順位・国体獲得得点一覧 9
- ◎第67回ぎふ清流国体入賞者にインタビュー 10
- ◎秋田銀行女子バスケットボール部紹介 14
- ◎平成24年度秋田県高等学校強化拠点校監督研修会 16
- ◎秋田県中学生強化選手指定証交付式 17

- ◎第67回国民体育大会報告会 18
- ◎いざ、冬の陣! 19
- ◎強化拠点校紹介
聖霊女子短期大学付属高等学校 テニス部 22
- ◎住民参加型スポーツイベント『チャレンジデー』 24
- ◎総合型地域スポーツクラブ 25
- ◎スポーツ科学センターだより
今年度前期のスポーツ振興班の取り組み状況を紹介します。 26
- ◎「スポーツ立県あきた」応援広告ほか 28
- ◎(公財)秋田県体育協会だより
会議録(抄)・編集後記 30

あの感動が再び鹿角へやってくる!!



第68回 国民体育大会冬季大会スキー競技会

あきた鹿角国体 2013

～響き合う 人・雪・感動 ゆめ息吹～

第66回大会に続き、2年ぶりの開催となる「あきた鹿角国体2013」。会場となる鹿角市花輪スキー場はアルペン、ジャンプ、クロスカントリー会場が隣接しており、競技観戦しやすいと定評があります。

選手のみなさんが全力を出し切れる大会運営はもちろんのこと、秋田県の小正月行事の体験や秋田犬とのふれあいコーナー、ご当地グルメの出店など秋田の魅力がぎっしり詰まったイベントを企画しています。みなさん、どうぞ会場に足を運んでください。

大会日程

式典・競技	平成25年2月			
	16日(土)	17日(日)	18日(月)	19日(火)
開会式	◎			
表彰式				◎
ジャイアントスラローム		○	○	○
スペシャルジャンプ	◇	○		
コンバインド	ジャンプ		◇	○
	クロスカントリー			○
クロスカントリー		○	○	○

凡例 ◎式典 ○競技 ◇公開練習

大会公式ポスター



各競技の見所



ジャイアントスラローム

最大斜度30度の花輪スキー場は全国的にも難易度の高い斜面です。好タイムをたたき出すには雪質、旗門に合わせた攻め方が必要となります。選手個々の滑走ラインがどのようにタイムに反映するのかが見所です。



スペシャルジャンプ コンバインド・ジャンプ

花輪シャンツェはヒルサイズ84mのミディアムヒルからヒルサイズ86mのノーマルヒルに生まれ変わりました。新しいジャンプ台を攻略し飛距離を伸ばそうとする選手の飛型フォームにも注目してみてください。



クロスカントリー コンバインドクロスカントリー

平地が少なくアップダウンを繰り返す起伏の多いコースです。観戦しやすいコースのため、選手を間近で見ることができます。リレー競技の一斉スタートの迫力やコンバインドクロスカントリーの後続選手の追い上げ等、見所満載です。

国体期間中の賑わいとおもてなし



秋田県内のご当地グルメコーナー

期間中4日間出店予定。競技観戦の合間に秋田のグルメをどうぞ!!
 【会場】花輪スキー場特設会場（屋外）



秋田のスイーツ ビュッフェコーナー

県内各地のスイーツが試食できる。(米粉パン、バター餅、鹿角地域のお土産等)
 【会場】花輪スキー場内レストランアルパス



秋田犬ふれあいコーナー

期間中、常時4頭が登場します。秋田犬に会いに来てね!!
 【会場】花輪スキー場特設会場（屋外）



秋田の小正月行事体験コーナー

横手のかまくら、湯沢の犬っこまつりの雪像、六郷カマクラの天筆、大館アメッコ市、上桧木内の紙風船上げを予定。なまはげ太鼓も演奏される。
 【会場】道の駅かつの（鹿角観光ふるさと館あんとらあ）

国体PR活動の紹介



6月8日(金) 「あきたびじょん あんべいいな・秋田デー」 明治神宮球場
 8月4日(土) 秋田竿燈まつり～竿燈市民パレード～
 8月5日(日) 「東京ガス×秋田県 特別料理教室」 東京ガスキッチンランド葛飾
 9月29日(土)・30日(日) 「ふるさと秋田まつり in 有楽町 2012」 東京都有楽町駅周辺
 10月7日(日)・8日(月) 「スポーツ博覧会 東京 2012」

駒沢オリンピック公園総合運動場等

10月12日(金)～14日(日) 「京急あきたフェア 2012」 京急上大岡駅隣接京急百貨店
 12月9日(日) スポーツ祭東京 2013 キックオフ・フェスティバル
 東京国際フォーラム

12月19日(水)～25日(火) 「あきた鹿角国体フェア」 東京都庁全国観光PRコーナー
 1月26日(土)～30日(水) 第68回国民体育大会冬季大会
 スケート競技(フィギュア競技会) 代々木第一体育館



国体開催までのカウントダウン始まる!!



平成24年11月8日(木)で国体開催100日前となりJR鹿角花輪駅前でカウントダウンセレモニーが行われました。この事業は市民総参加で機運の醸成を図る市民共同事業の一環として行われ、この日からカウントダウンボードが点灯されました。

「あきた鹿角国体 2013」の公式ホームページでは県内で活躍するスポーツ選手をはじめ、多くの方々に国体までのカウントダウンをしていただいています。下記から御覧ください。



公式ホームページアドレス

<http://common.pref.akita.lg.jp/kokutai/>

*本庁舎正面入口・第二庁舎正面入口デジタルサイネージ(電子看板)にも掲載しています。※閉庁日を除く



問い合わせ先

秋田県観光文化スポーツ部スポーツ振興課 国体推進班 〒010-8572 秋田市山王三丁目1-1 県庁第2庁舎6階

TEL. 018-860-1243 FAX. 018-860-3876

鹿角市国体実行委員会事務局 (競技関係) 〒018-5292 鹿角市花輪字荒田4番地1

TEL. 0186-30-0287 FAX. 0186-30-1122



第68回 国民体育大会冬季大会スキー競技会 あきた鹿角国体2013に向けて

2月16日(土)～19日(火)の4日間にわたり、鹿角市花輪スキー場において「あきた鹿角国体2013」が開催される。「ぎふ清流国体」では、皇后杯3連覇を達成し、天皇杯4位と健闘した秋田県選手団の勢いは健在である。アルペン、ジャンプ・コンバインド、クロスカントリーの各セクションにおける地元国体に懸ける意気込みを紹介する。



アルペン (県スキー連盟アルペン部会)



一昨年のあきた鹿角国体の時と選手の顔ぶれはほぼ同じである。昨年のぎふ清流国体においては、スキー競技において成年女子Aの金子未里選手と成年男子Bの生田康宏選手が優勝というすばらしい結果を残してくれた。ぎふ清流国体でのスキー競技において優勝者を出したのはアルペンだけである。今回の国体も昨年度の優勝者2名を軸に確実に得点を獲得していきたい。

あきた鹿角国体に向け、アルペン部会として5月と9月に強化練習会(フィジカルトレーニング)を2回、10月にはヨーロッパ遠征、11月にはカナダ遠征、12月は

北海道合宿(いずれも雪上合宿)を実施し、選手の強化に努めてきた。成年組は仕事の都合などで合宿に参加できない選手が多かったが、少年組を中心に技術レベルの底上げを図ることができた。少しずつではあるが、合宿を通して心身ともに成長していると実感している。国体では各カテゴリーにおいて複数入賞を目標に掲げ大会に挑みたい。特に昨年の国体で得点無しに終わった少年男子、成年男子Cのクラスでは何とか得点を獲得したい。その他のカテゴリーにおいては複数入賞が十分期待できる選手がそろっており、スタート順やレース展開次第では上位への複数入賞も可能だと考えている。是非とも一昨年のあきた鹿角国体33点、昨年のぎふ清流国体26.5点を上回る40点を目標に、選手コーチ共々万全の状態でご本番を迎えたい。

毎年選手強化に際して御尽力いただいている県体育協会、県スキー連盟をはじめとする関係者各位の御協力により、選手のレベルも年々向上してきました。今後とも変わらぬ御支援御協力の程、よろしくお願いします。



ジャンプ・コンバインド (県スキー連盟ジャンプ・コンバインド部会)



今年は、春から花輪ジャンプ台改修工事ということで10月のSAJ公認2012鹿角サマージャンプ・コンバインド大会まで県内でのジャンプ練習が出来ない状態が続いた。しかし、週末を利用して北海道への強化合宿を春から秋まで計画し、実行することが出来た。強化合宿では宮の森ジャンプ競技場、大倉山ジャンプ競技場でのジャンプ中心の強化を図り、大きいジャンプ台を数多く飛ぶことによって空中感覚、空中での体の微調整を身につけること、そして、自信と心のゆとりを持たせることを目的として行った。また、アプローチでのスピードの変化にも対応できるようにした。



今国体の展望としては、スペシャルジャンプでは、少年の齋藤翔太（秋田北鷹3年）、成年Aの馬淵源（旭川大学2年）の両名に期待が持てる。両選手はフィンランドでのF I Sカップに全日本公認で出場出来ることになり、世界の選手と同じ場所に立ち肩を並べるようになった。結果は別として、本人達にとって大きな自信として今後の競技にプラスになると確信している。コンバインドでは、少年の湯瀬航大（花輪3年）、成年Aの田中寛幸（中央大学3年）、の両名に期待が持てる。ジャンプに関しては少し難があるが、走力でカバー出来る力はトップクラスであるため、ジャンプを巧くまとめることができれば上位に食い込むことが可能である。また、昨年の入賞者である成年Bの月居克夫（小坂高校教諭）にも期待が持てる。オリンピックの高橋大斗（土屋ホーム）、湊祐介（東京美装）の出場に関しては今後の成績次第であるものの、まずは世界の舞台での活躍を応援したい。現時点での課題は、各組ともに2番手、3番手にくる選手の育成である。今年は海外遠征を実施しており、高校生3名、大学生2名参加したが、この5名には国内に残っている選手の目標となるよう頑張ってもらいたい。また、国内に残っている選手は北海道においてクロスカントリーを中心とした強化合宿に入るが、厳しい練習に打ち勝って己のスキルアップに繋げてほしいと思う。あきた鹿角国体では総合優勝に貢献出来るよう選手、強化コーチ陣一丸となり頑張っていきたい。



クロスカントリー (県スキー連盟クロスカントリー部会)



昨年、ぎふ清流国体においてクロスカントリー陣は、わか杉国体以来の60点台の高得点を獲得することができた。これは厳しい予選を勝ち抜き、日ごろからたゆまぬ努力を惜しまない選手の頑張りもそうであるが、チームが心一つに戦った結果だと感じている。

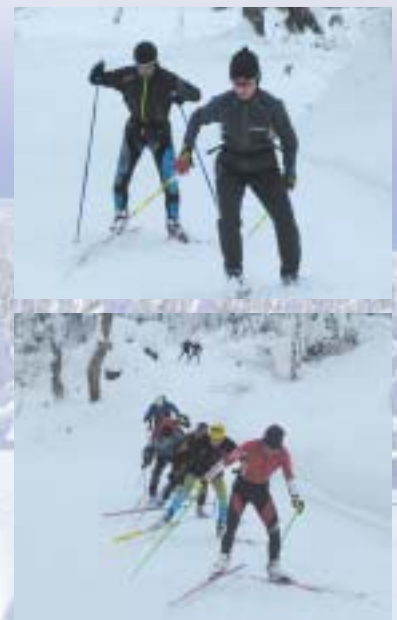
国体は開会式も含め4日間で開催される。この短期間に実力以上のものを引き出すための鍵となるのが「チームワーク」と「勢い」

である。このふたつの言葉をベースに2年ぶりとなる地元国体に臨んでいきたい。

今国体は、少年男子のリレー優勝を目標として様々な活動に取り組んできた。少年男子は昨年まで全国優勝、入賞を経験した選手4名がおり、そのメンバーを中心になんとしても少年男子リレー優勝という大目標を達成したい。また、前回の地元国体で女子リレー優勝の原動力となった石垣寿美子、大森菜保子（共に秋田ゼロックス）が健在であるとともに、昨年怪我に泣いた佐藤亜紗美（日本大学2年）も復調の兆しを見せている。それに続く少年女子の力次第では女子リレー優勝も見えてきそうである。その他、昨年の入賞者である成年Cの加賀誠幸（スポーツ科学センター）、成年Bの大森亘（秋田ゼロックス）の安定感に期待したい。

高得点を挙げた国体の共通点は、一番初めの種目である少年男子の活躍によってチームに勢いがつくことである。このスタートダッシュを確実に成し遂げ、続く種目での複数入賞を狙っていきたい。

地元国体は、多くの関係者の協力をいただきながら大会を運営していただいている。また、県民の大声援が選手たちの頑張りを後押ししてくれる。今国体は、選手団だけではなく地元国体に携わる県民のみなさんとともに「チームあきた」として力を合わせ頑張っていきたい。そして、スキーの持つ魅力を感謝の心とともに発信できるような活躍を目指していきたい。





【相撲競技】少年男子団体 2位 秋田選抜



【フェンシング競技】少年男子団体フルーレ 2位 秋田北鷹高校



【なぎなた競技】少年女子試合 3位 秋田選抜



【ウェイトリフティング競技】成年男子105キログラム級スナッチ 4位 藤原和朋(日大)



【馬術競技】成年女子自由演技馬場馬術 4位 益子裕芽子



【バドミントン競技】成年女子 4位 北都銀行



【陸上競技】女子共通 4×100mリレー 5位 秋田選抜



【セーリング競技】成年男子シングルハンダー級 齋藤大輔(美浜)



第67回 国民体育大会(本大会)入賞者一覧

順位	競技	種別	種目	氏名	所属
1位	バスケットボール	成女		秋田選抜	
2位	相撲	少男	団体	秋田選抜	
	フェンシング	少男	フルーレ	秋田北鷹高校	
	レスリング	少男	フリースタイル66kg級	多胡島伸佳	明桜高校3年
	カヌーS L	成男	カヤックシングル15ゲート	佐々木翼	秋田県体育協会
	カヌーW W	成男	カヤックシングルスプリント	佐々木優	秋田県カヌー協会
3位	なぎなた	少女	試合	秋田選抜	
	フェンシング	成男	フルーレ	秋田選抜	
	レスリング	成男	フリースタイル66kg級	保坂健	早稲田大学2年
	レスリング	少男	フリースタイル60kg級	吉川航平	秋田商業高校3年
	レスリング	少男	フリースタイル84kg級	古城涼真	秋田商業高校2年
	カヌースプリント	成女	カヤックシングル200m	小野祐佳	筑波大学4年
	カヌースプリント	成女	カヤックシングル500m	小野祐佳	筑波大学4年
4位	バドミントン	成女		北都銀行	
	ライフル射撃	少男	ビームピストル(40発)	高橋駿平	秋田中央高校1年
	ウエイトリフティング	成男	105kg級スナッチ	藤原和朋	日本大学4年
	馬術	成女	自由演技馬場馬術	益子裕芽子	秋田県体育協会
5位	バスケットボール	成男		J R東日本秋田	
	陸上競技	女子	共通4×100mリレー	秋田選抜	
	ボクシング	成男	ミドル級	滝代良拓	秋田県アマチュアボクシング連盟
	レスリング	成男	フリースタイル60kg級	五十嵐琢磨	日本体育大学4年
	レスリング	成男	フリースタイル74kg級	松田健悟	青山学院大学2年
	レスリング	少男	フリースタイル55kg級	船木拓也	秋田商業高校3年
	レスリング	少男	グレコローマンスタイル96kg級	寺山修平	秋田商業高校3年
	ウエイトリフティング	成男	53kg級ジャーク	佐藤亮哉	名古屋産業大学2年
	カヌースプリント	少男	カヤックシングル500m	佐々木空	由利高校1年
6位	馬術	少年	自由演技馬場馬術	山崎詩乃	角館高校2年
	陸上競技	少女B	200m	芳賀珠純	大館桂高校1年
	陸上競技	少女B	100mハードル	下田美穂	秋田和洋女子高校1年
	セーリング	成男	国体シングルハンダー級	齋藤大輔	美浜
	ライフル射撃	成男	50mエアライフル伏射(60発)	渋谷志	秋田東署
	カヌーS L	成男	カヤックシングル25ゲート	佐々木翼	秋田県体育協会
	水泳(競泳)	少男	100m自由形	石井亨	秋田商業高校3年
7位	フェンシング	少女	フルーレ	聖霊高校	
	陸上競技	成男	110mハードル	齋藤陽平	筑波大学2年
	カヌーW W	成男	カヤックシングル1500m	佐々木優	秋田県カヌー協会
	ウエイトリフティング	成男	105kg級ジャーク	藤原和朋	日本大学4年
8位	フェンシング	成男	サーブル	秋田選抜	
	自転車	成男	1kmタイムトライアル	門脇翼	東北学院大学1年
	陸上競技	成男	やり投げ	加藤拓也	中央大学2年
	ウエイトリフティング	少男	69kg級スナッチ	佐藤翔	男鹿海洋高校3年
	ボート	成女	シングルスカル	野呂瑞季	富山国際大学2年
	水泳(競泳)	成女	100m平泳ぎ	小林明日香	筑波大学2年



第67回国民体育大会成績と昨年度比較

- ・平成24年第67回国体総得点 414.0点+参加点400点=814.0点
天皇杯 36位 皇后杯 33位
- ・平成23年第66回国体総得点 571.0点+参加点400点=971.0点
天皇杯 19位 皇后杯 27位

	冬季国体	本 国 体	総 合	
第 67 回	1 5 4.5	6 5 9.5	8 1 4.0	順位 36位
第 66 回	1 6 6.0	8 0 5.0	9 7 1.0	順位 19位
比 較	- 1 1.5	- 1 4 5.5	- 1 5 7.0	- 17位

(参加得点含む)

第67回国民体育大会成績

秋田県順位の推移

天 皇 杯

男女総合得点

- ① 岐 阜 3028.50
- ② 東 京 2031.00
- ③ 愛 知 1960.00
- ④ 埼 玉 1922.00
- ⑤ 大 阪 1594.50
- ⑥ 神奈川 1490.00
- ⑦ 千 葉 1444.00
- ⑧ 京 都 1429.00
- ⑨ 福 岡 1413.00
- ⑩ 北海道 1406.00
- ⑪ 兵 庫 1401.50
- ⑫ 広 島 1148.50
- ⑬ 岡 山 1137.00
- ⑭ 静 岡 1103.00
- ⑮ 山 口 1066.50
- ⑯ 群 馬 1052.00
- ⑰ 長 野 1026.00
- ⑱ 栃 木 1005.50
- ⑲ 大 分 955.00
- ⑳ 長 崎 939.50
- ㉑ 和歌山 934.50
- ㉒ 新 潟 933.00
- ㉓ 熊 本 930.50
- ㉔ 福 井 916.00
- ㉕ 宮 城 905.00
- ㉖ 石 川 904.50
- ㉗ 富 山 891.00
- ㉘ 山 形 883.00
- ㉙ 香 川 883.00
- ㉚ 佐 賀 846.00
- ㉛ 鹿 児 島 845.00
- ㉜ 滋 賀 819.00
- ㉝ 茨 城 817.50
- ㉞ 愛 媛 817.00
- ㉟ 奈 良 814.50
- ㊱ 秋 田 814.00
- ㊲ 宮 崎 794.50
- ㊳ 三 重 792.50
- ㊴ 岩 手 790.00
- ㊵ 青 森 770.50
- ㊶ 山 梨 751.00
- ㊷ 沖 縄 694.00
- ㊸ 福 島 685.00
- ㊹ 鳥 取 660.50
- ㊺ 島 根 597.00
- ㊻ 徳 島 597.00
- ㊼ 高 知 567.00

皇 后 杯

女子総合得点

- ① 岐 阜 1460.00
- ② 東 京 1008.50
- ③ 愛 知 931.00
- ④ 埼 玉 899.50
- ⑤ 福 岡 737.50
- ⑥ 大 阪 725.50
- ⑦ 千 葉 722.00
- ⑧ 兵 庫 715.00
- ⑨ 京 都 681.50
- ⑩ 神奈川 680.00
- ⑪ 北海道 675.50
- ⑫ 熊 本 615.50
- ⑬ 静 岡 604.50
- ⑭ 岡 山 578.50
- ⑮ 山 口 571.50
- ⑯ 群 馬 565.50
- ⑰ 長 野 565.00
- ⑱ 広 島 562.00
- ⑲ 栃 木 546.00
- ⑳ 大 分 536.00
- ㉑ 新 潟 520.50
- ㉒ 福 井 512.00
- ㉓ 長 崎 510.50
- ㉔ 石 川 488.50
- ㉕ 香 川 486.50
- ㉖ 宮 城 482.50
- ㉗ 山 形 480.00
- ㉘ 富 山 480.00
- ㉙ 滋 賀 466.00
- ㉚ 佐 賀 464.50
- ㉛ 愛 媛 459.00
- ㉜ 鹿 児 島 456.00
- ㉝ 秋 田 452.50
- ㉞ 茨 城 442.50
- ㉟ 山 梨 437.50
- ㊱ 鳥 取 436.50
- ㊲ 和歌山 433.00
- ㊳ 奈 良 421.50
- ㊴ 宮 崎 414.50
- ㊵ 岩 手 408.00
- ㊶ 青 森 396.00
- ㊷ 高 知 372.00
- ㊸ 徳 島 367.50
- ㊹ 福 島 363.00
- ㊺ 三 重 330.00
- ㊻ 島 根 328.00
- ㊼ 沖 縄 310.00

回	年	開催地	天皇杯	皇后杯	回	年	開催地	天皇杯	皇后杯
1	21	京 都			35	55	栃 木	13	23
2	22	石 川			36	56	滋 賀	12	13
3	23	福 岡	11	19	37	57	島 根	21	33
4	24	東 京	18	27	38	58	群 馬	16	37
5	25	愛 知	13	29	39	59	奈 良	18	36
6	26	広 島	18	35	40	60	鳥 取	31	25
7	27	東 北	15	36	41	61	山 梨	27	26
8	28	四 国	16	22	42	62	沖 縄	22	27
9	29	北 海 道	17	23	43	63	京 都	37	38
10	30	神奈川	11	19	44	元	北 海 道	26	36
11	31	兵 庫	10	15	45	2	福 岡	34	43
12	32	静 岡	26	23	46	3	石 川	38	46
13	33	富 山	29	21	47	4	山 形	28	39
14	34	東 京	12	16	48	5	東 四 国	32	41
15	35	熊 本	9	10	49	6	愛 知	34	45
16	36	秋 田	2	4	50	7	福 島	21	25
17	37	岡 山	10	12	51	8	広 島	25	44
18	38	山 口	10	14	52	9	大 阪	18	33
19	39	新 潟	9	12	53	10	神奈川	29	42
20	40	岐 阜	11	16	54	11	熊 本	22	42
21	41	大 分	10	17	55	12	富 山	28	38
22	42	埼 玉	10	6	56	13	宮 城	22	34
23	43	福 井	17	24	57	14	高 知	24	33
24	44	長 崎	12	14	58	15	静 岡	24	39
25	45	岩 手	9	6	59	16	埼 玉	33	38
26	46	和歌山	9	4	60	17	岡 山	23	34
27	47	鹿 児 島	13	14	61	18	兵 庫	10	17
28	48	千 葉	9	7	62	19	秋 田	1	1
29	49	茨 城	11	12	63	20	大 分	23	25
30	50	三 重	8	10	64	21	新 潟	30	41
31	51	佐 賀	11	16	65	22	千 葉	28	30
32	52	青 森	18	21	66	23	山 口	19	27
33	53	長 野	14	5	67	24	岐 阜	36	33
34	54	宮 崎	16	12					



第67回 ぎふ清流国体入賞者にインタビュー



バスケットボール 成年女子 優勝

秋田銀行女子バスケットボール部 保坂 和音 選手

Q1 出身学校を教えてください。
土崎小学校-土崎中学校-経法大附属高校-専修大学

Q6 キャプテンとして、どういったことを意識して練習や大会に臨みましたか。
"国体前にあった全日本実業団大会からの切り換えと、全員が国体優勝という目標達成に集中することを意識しました。また、コートの中でも外でもコミュニケーションを意識し、積極的に声をかけました。"

Q2 最後の試合が終わって、まず思った"一言"を教えてください。
感激！

Q7 決勝戦の第3Qは運動量でも圧倒していたように見えたと思いますが、日頃はどんな練習をしていますか。

Q3 今大会の結果【優勝】について感想を聞かせてください。
"秋田国体以来の優勝となり、本当に嬉しく思います。岐阜県も試合も楽しむことができてよかったです。"

"日頃は仕事の後なので走りこぶことはできませんが、週末に一つ森のトラックを走りに行ったり、昨年度は出戸浜を走りに行ったりもしました。砂に足がとられるので大変です。(その後は海に飛び込む部員も・・・)"

Q4 今回の優勝の原動力となったポイントを教えてください。
"日頃の支えや協力、応援にこたえるためには勝つしかない！そんな感謝の気持ちで私達の原動力です。"

Q8 シーズンも終盤に差し掛かってきていると思いますが、今後のスケジュールへの意気込みと、応援している方々へ一言をお願いします。



Q5 今大会に向けて、チームのムードはどういったものでしたか。
"「秋田のバスケットに貢献しているシキさん(今美春選手)と、もう一度優勝を！」そんな気持ちをみんなが持って、グッとまとまっています。結果、最後に笑いあえて本当によかったと思っています。"

"今シーズンはタイトルへのこだわりを持ってスタートしました。その中で国体優勝できたことは、私達に少し自信を与えてくれたように思います。まだまだ私達は弱く、未熟者です。チャレンジャー精神を忘れず日々の練習に取り組んでいきたいです。秋田に明るいニュースを届けられるよう頑張りますので、引き続き応援よろしくお願いします。"



相撲 少年男子 準優勝

横手高校(3年) 鈴木 涼汰 選手

Q1 出身学校を教えてください。
仙南東小学校-仙南中学校

Q5 今大会は【準優勝】という素晴らしい結果を取られました。大会期間中の選手たちはどんな雰囲気でしたか。
普段からとても仲が良いチームなので、試合以外ではたわいのない話をしたり笑ったりするなどリラックスしていました。しかし、試合前のウォーミングアップが始まると、緊張感を持って取り組んでいました。そうやって気持ちのメリハリを付け、試合にはベストな気持ちで取り組むことができ、みんながそれぞれの最高の力を出したと思います。

Q2 最後の試合が終わって、まず思った"一言"を教えてください。
高校生活最後の試合でもあったので、「ああ、本当に終わったんだなあ。」という感じでした。

Q6 当初の目標だった8強入りを大きく上回る【準優勝】を取れたわけですが、その要因を聞かせてください。
"個々の力は決してトップクラスというわけではありません。しかし、チームワークはどこにも負けていませんでした。一緒に厳しい練習を乗り越え、同じ釜の飯を食べ、同じ部屋で寝るといった集団行動が強いチームワークをつくったのだと思います。土俵に立っているのは自分ひとりなのですが、土俵下で控えているみんなが大きな声で自分を応援しているのが聞こえ、とても心強かったです。それは他の選手も同じだったと思います。チームワークが今回の結果の一番の要因だと思います。苦しいことや辛いことがたくさんありましたが、結果を残すことができ、3年間諦めずにがんばってきて本当に良かったと思います。後輩たちには「自分に甘えず一生懸命がんばった努力は必ず報われる。」と信じ、もう一つ上の優勝を目指してがんばって欲しいと思います。"

Q3 今大会の結果【準優勝】について感想を聞かせてください。
"8強入りして天皇杯得点をとる"を目標に、毎週合宿をし、レベルアップとチームワーク作りをしてきました。目標を大きく上回る結果に、がんばれば必ず報われると思いました。"



Q4 日頃の練習・トレーニングに対しては、気持ちの面ではどんなことを意識して取り組んできましたか。

どんなに厳しい練習でも、監督の伊藤先生に行けば必ず強くなれると信じ、プラス思考でがんばりました。



フェンシング少年男子：フルレ 準優勝 秋田北鷹高校(3年) 長岐 拓 選手

秋田北鷹高校(3年) 伊藤 真 選手

秋田北鷹高校(3年) 簾内 長仁 選手

Q1 出身学校を教えてください。
(長岐) 鷹巣中央小学校-鷹巣南中学校
(伊藤) 旭南小学校-山王中学校
(簾内) ニツ井小学校-ニツ井中学校

Q8 競技生活の中で、一番自分を支えてくれた"モノ or 人"は何(誰)ですか。
(伊藤) 一番の支えだったのは部活動の仲間。普段はくだらない話をする仲間だけれど、個人戦となれば敵としてお互い高めあってきた。身近なライバルとして強くなるうとする気持ちが弱まるとすぐに越されてしまうので良い刺激になった。一緒にいて落ちつく存在だった。

Q2 最後の試合が終わって、まず思った"一言"を教えてください。

(長岐) 「終わった・・・」と思いました。
(伊藤) 「楽しかった!!」
(簾内) 「やっちゃったあ・・・」

Q9 インターハイは"総当たり"ですが、国体は1人1つの一本勝負で、より"勝ち"を求められました。今大会へはどんな気持ちで臨みましたか。

(簾内) 自分はエースなので、自分が負けてしまえば試合も負けてしまうと思い、絶対に勝つという気持ちで試合に臨みました。しかし、その気持ちが空回りしたので、気負わないでいつも通りにやるように修正した。

Q3 今大会の結果【準優勝】について感想を聞かせてください。

(長岐) 優勝を目標に大会に臨んでいたのですが、一回戦でまさかの予選落ちをしそうだったので、そこから準優勝まで登り詰めることができて嬉しかったです。

Q10 自分にとってのフェンシングとは？競技生活での熱い思いと、今後の目標、次のステップへの意気込みを聞かせてください。

(伊藤) チームのみんなで取った準優勝だった。予選は特にみんなでしっかりつなぐことが出来て良かった。僕にとって最後の試合だったので、良い結果でうれしかった。

(長岐) フェンシングとは高校時代までの自分だと思います。私は小学2年生からフェンシングを始めました。それから11年間一度も止めることなく続けてきました。この長い時間の中で最も苦しかったのが、高校2年生の時のケガでした。1度だけでなく何回か繰り返してしまい、それが大会にも影響し、チームのみんなに迷惑をかけてしまいました。しかし、みんなが励ましてくれたおかげで立ち直ることができ、それをバネに成長することができました。今後は大学へ進学し、自分の将来へ向かっていきます。その中で、フェンシングで学んだことを活かして、目標へたどり着きたいと思います。

(簾内) 秋田北鷹単独チームでの出場で、インターハイよりも1つ上の結果を残すことができてうれしかった。

Q4 高校生活最後の大会でしたが、どんな気持ちで臨みましたか。

(長岐) 最後の大会と考えていましたが、それによって緊張してしまいうさだたでいつも通り気楽な感じで楽しんで臨みました。

(伊藤) フェンシングは小学2年生からやっていたので生活の一部のようだった。高校からは試合で勝ちたくて親元を離れて今の高校に入学した。練習で辛い事や悩んだ事もあったけど、たくさんの仲間と一緒に楽しむことができて本当に良かった。たくさんの人の支えがあったからこそ頑張ってきた。これからは支えてくれた人たちに感謝を持って生活していきたい。今後はフェンシングをする機会はほとんど無くなるが、学んだことをフルで活用して将来の夢に向かっていきたい。

Q5 アスリートとして日頃から大切にしていることを教えてください。

(伊藤) 日常生活も真剣にやること。挨拶、身だしなみ、そして勉強も手を抜かないようにしている。勉強はいつも上位に入るように頑張っている。

(簾内) 小学2年生の時からずっとやり続けてきたスポーツなので自分の生活の一部です。フェンシングは技術だけでなく、頭を使う競技なので様々な戦略を練る必要があるのがおもしろい。大学でも続けるので大学試験が終わったら大学新人戦優勝を目指して練習したい。

Q6 自分のプレーの持ち味と、今大会でのパフォーマンスについて聞かせてください。

(簾内) 自分は手数が多いプレースタイルで、今大会でもそのスタイルを十分に活かすことができ、かつ剣捌きも正確だったと思う。

Q7 キャプテンとして引っ張ってきた秋田北鷹高校フェンシング部を紹介してください。また、キャプテンとしての苦勞や思い出を教えてください。

(長岐) 今年の秋田北鷹のフェンシング部は部員全員が個性的でとてもユニークで、きつい練習の中でも楽しく練習できました。テクニカルアドバイザーとして来ていただいた工藤先生も、毎日の練習でつらい時にもおもしろい話をしていたり私たちに元気づけてくれました。そんなフェンシング部のキャプテンになることができとても嬉しく思いました。





レスリング 少年男子：フリースタイル 66kg級 準優勝 明桜高校（3年） 多胡島伸佳 選手

Q1 出身学校を教えてください。
桜小学校-桜中学校

Q2 最後の試合が終わって、まず思った“一言”を教えてください。
全国を獲るのは本当に大変で難しい。

Q3 今大会の結果【準優勝】について感想を聞かせてください。
優勝できなかった悔しさが大きかった分、自分の中で勝利に対する貪欲さが増す、よききっかけになったと思います。



Q4 今大会に向けて、気持ちやトレーニングなどではどんなことを意識して準備をしましたか。
相手の分析も重要だが、それ以上に自己の技術向上も大事。そのバランスに気をつけて練習に励みました。

Q6 今大会は【準優勝】という素晴らしい結果を収められましたが、大会へはどんな意気込みで臨みましたか。
三年間やってきた事を出しきれればそれでいい。そうすれば必ずと目標である優勝が達成できると考えていました。相手とどうこうよりも、自分がどれだけ技術向上したかを感じられる場にしたい。周りの人にも自分の成長を感じてもらいたかった。それが三年間支えて頂いた方々への恩返しになると考え、大会に臨みました。

Q8 多胡島君にとってのレスリングとは？
自らを律してくれる僕にとって最良の教師です。強くなる為に必死になった日々が、結果的に僕に人間性を支え、良い方向へと導いてくれたし、レスリング以外でも成長できた。2020年での五輪制覇が最終目標ですが、その前にはまず日本で一番になる必要があるし、それは並大抵の努力では達成できないと思う。でもそのために必死になれば、結果以外に何が自分に残るのかが高校三年間でわかったし、今はまず大学チャンピオンを目標に頑張ろうと思います。



カヌーS1 成年男子：カヤックシングル 15ゲート 準優勝 秋田県体育協会 佐々木 翼 選手
カヌーS1 成年男子：カヤックシングル 25ゲート 第6位

Q1 出身学校を教えてください。
角館西小学校-角館中学校-角館高校-秋田経済法科大学

Q2 最後の試合が終わって、まず思った“一言”を教えてください。
情けない。

Q3 今大会の結果【準優勝・6位入賞】について感想を聞かせてください。
国内大会では優勝以外満足できるとはいえません。例え優勝したとしても納得のいくレース内容でなければ満足はしません。



Q4 アスリートとして日頃から意識していること・大切にしていることを教えてください。
常に世界で戦うことを意識して練習に取り組んでいます。日本はカヌー競技が盛んな国に比べると決して恵まれた環境にあるとはいえませんが、自分がある環境でできる精一杯のことをして日々鍛錬しています。

Q5 佐々木選手の日頃の練習環境はどんなところですか。また、OFFは何をしていますか。
普段の練習場所は主に秋田国体が行われたコースと角館にあるカヌーコースでの練習をしています。他にはジムへ行ったり、冬になるとクロカンもやったりします。常に何の大会に照準を合わせるかによって練習の内容を決めています。これからの冬のシーズンは特に基礎練習を主にカヌーだけではなく様々な内容で練習を行っています。OFFでさえ僕はカヌーをします。だいたいカヌーを持って釣りに出かけています。

Q6 通算13度の国体優勝を数える佐々木選手の、これまで一番カヌーが楽しいと感じた瞬間と一番辛かった（危なかった）瞬間を教えてください。
苦しいときも辛い時も水の上にいると楽しくなります。カヌーが楽しいと感じる瞬間とは自分が上手になったということを実感した瞬間。辛い瞬間とは練習が始まる瞬間。危なかった瞬間とは今年下った白石川の6mと7mの2段の滝を落ちた瞬間でした。そして僕は競技カヌーを主にやっていますが、競技カヌー以外にも様々なカヌーがあります。僕はカヌーが好きです。競技カヌーが主に注目されがちですが川を下ったり湖でのんびりカヌーを漕いだり、他にも様々なカヌーがあります。どんなカヌーでも老若男女誰でも季節問わずいつからでも始められます。水の上から低い視線で見える景色は陸上からは味わえない魅力があります。



カヌーWW 成年男子：カヤックシングルスプリント 準優勝 秋田県カヌー協会 佐々木 優 選手
カヌーWW 成年男子：カヤックシングル 1500m 第7位

Q1 出身学校を教えてください。
角館西小学校-角館中学校-大曲農業高校太田分校

Q2 最後の試合が終わって、まず思った“一言”を教えてください。
何とか最後の種目で表彰台に立てることができた。

Q3 今大会の結果【準優勝・7位入賞】について感想を聞かせてください。
1500m競技では、入賞するとは思ってなく驚きでしたが、スプリント競技では、優勝は狙えましたが、1本目のミスが響き2位と自分的には残念な結果に終わってしまいました。2種目とも入賞出来て嬉しいですね。



Q4 アスリートとして日頃から意識していること・大切にしていることを教えてください。
常に練習も試合と心掛けて意識しています。また、カヌー道具も試合に使うので壊れないよう大事に扱っています。

Q4 アスリートとして日頃から意識していること・大切にしていることを教えてください。
常に練習も試合と心掛けて意識しています。また、カヌー道具も試合に使うので壊れないよう大事に扱っています。

Q5 佐々木選手の日頃の練習環境はどんなところですか。また、OFFは何をしていますか。
平日は角館町の玉川で練習し土日は秋田国体カヌーコース上流の生保内カヌーコースで1時間程度練習しています。試合シーズン中はタイムを計ったり練習していますが、試合シーズンが終わると、筋力トレーニングや体力作りをメインに練習しています。練習がOFFの日には家で映画鑑賞したり釣りに出かけています。

Q6 秋田県でカヌー競技を続けていて感じる“カヌーの魅力”を教えてください。
波や川の流れを使って船を上手く進めていくなど、他のスポーツではなかなか無い自然の力を利用することです。秋田県では流れがない静水での練習でスピードを落とさないなどの基本的な技術を身に付けたり、激しい流れで川の力を最大限利用する練習などができる練習場があって、またチームメイトであり最大のライバルである兄と切磋琢磨して、一秒でも速くするように練習できる最高の場所であり、カヌーの魅力を感じられる場所です。



カヌースプリント 成年女子：カヤックシングル 500m 第3位 筑波大学（4年） 小野 祐佳 選手
カヌースプリント 成年女子：カヤックシングル 200m 第3位

Q1 出身学校を教えてください。
新山小学校-本荘北中学校-本荘高校

Q2 最後の試合が終わって、まず思った“一言”を教えてください。
今シーズンやっと終わったな～

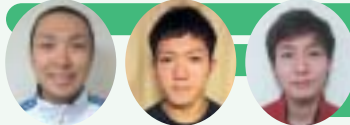
Q3 今大会の結果【2種目で3位入賞】について感想を聞かせてください。
上位2名はロンドン五輪代表でいつも憧れだったから3位は順当と思ったが1位の選手は引退なので最後まで勝てず悔しかった。



Q4 アスリートとして日頃から意識していること・大切にしていることを教えてください。
支えてくれている周りの人たちに感謝の気持ちを忘れないこと(身近な人に程できてない時が多いけど…)。

Q5 小野選手の日頃の練習環境はどんなところですか。
大学から車で20分行った露ヶ浦に注ぐ桜川が練習場。平日は学校が終わってから2時間程度、乗艇トレーニングカウエイトトレーニングの片方を。休日は丸1日練習で両方行う。普段練習量が少ないのでナショナルチームの合宿が辛い。1日3回乗艇、多いときは一度に30km以上漕ぎ、ウエイトも様々な種目を35kgで120回とか、腕立て400回とか・・・。

Q6 今回2種目において3位を獲得する快挙で、大学生活最後のレースを締めくくった訳ですがこれまでカヌーを続けた動機と、小野選手をここまで魅了したカヌーのどんなところに魅了されたかを教えてください。
カヌーを漕いでいる時の水上でしか感じられない風と光の色とかが好きで、何より水面を漕ぎぬける何にも例えられない感覚が癖になったのだと思う。最初は単純に楽しいと思ってやり始め、次第に、練習や試合で設定した目標を達成したときの達成感や、もちろん勝利の喜びも、それから周りの人の笑顔とかが知らぬ間に自分に欠かせないものになっていて、そういうのが続いている動機。強豪の欧州では非常に盛んなスポーツ。気候も本県同様11月から3月頃まで雪、川は凍るからスキーなど陸上トレーニングのみになる。秋田県人は体格が良いとも言われているし、強い選手が育つ可能性が高いと思うから是非カヌースプリント競技をやってみてほしい！



フェンシング 成年男子：フルール 第3位

(株) 鶴弥 齋藤 有 選手

日本大学（3年） 松岡 慧 選手

早稲田大学（1年） 仙葉 恭輔 選手

Q1 出身学校を教えてください。

(齋藤) 城南小学校-大館第一中学校-合川高校-朝日大学
(松岡) 広面小学校-城東中学校-合川高校
(仙葉) 牛島小学校-城南中学校-秋田南高校

Q2 最後の試合が終わって、まず思った“一言”を教えてください。

(齋藤) また必ず優勝できるチームだと実感？しました！
(松岡) 最後の試合が3位決定戦ということもあり、最後は勝って終わりたいとみんなで臨んだ試合。自分はその中盤を担当し勝って先輩の齋藤選手に繋げることができてよかったと思った。
(仙葉) 「終わってしまった。」でした。緊張からか萎縮してしまい、いつも通りのパフォーマンスを発揮できないまま試合が終了してしまった、という気持ちが大きかったです。

Q3 今大会の結果【3位入賞】について感想を聞かせてください。

(齋藤) 前年度の山口国体で優勝したチームとして、今年も優勝するぞ！とチームメイトと共に精一杯挑戦しました。二連覇が目標だったので、結果には満足していません。ですが、チームメイトもとても良い試合をしてくれ、秋田県代表として、誇りをもって戦い抜いた事は自信となりました。遠方にも関わらず、秋田から岐阜県の試合会場まで応援にかけつけてくださった父兄の皆様、秋田県体育協会の皆様、また、秋田から私たちの勝利を願って下さった皆様、株式会社鶴弥の皆様、本当にたくさんの方々のご声援が大きな力となりました。本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。
(松岡) 内容には満足。しかし、結果を言わせてもらおうと不満です。去年優勝しているということもあり今年自身初の2連覇を目標に頑張っていたのでそういう意味では残念です。
(仙葉) チームの総合力ではどこの都道府県にも負けていないと思っていたので、正直悔しい気持ちでいっぱいです。

Q4 プレー中はいつもどんなことを考えていますか？

(齋藤) 試合の流れや、相手の心理状態を考えてプレーしています。
(松岡) プレー中は何も考えていません。自分のプレーで観客、ベンチを盛り上げることができるよう試合に臨みます。
(仙葉) 試合の流れです。フェンシングの試合はひとつの物語のようなもので、起承転結を試合の中に作っています。

Q5 今大会も最年長選手としてチームを牽引してくれました。先輩から見た若手選手2人の印象と齋藤選手に続くエースへと成長することを期待しての一言をお願いします。

“松岡慧選手とは私が高校生の時から、一緒に練習することもあり、兄弟みたいな関係ですね(笑)僕が引退しても松岡選手なら秋田県を代表する選手、名監督になること間違いなしだと思います。秋田はもちろんのこと、日本を代表する選手になると信じています。秋田の宝です！仙葉恭輔選手は今回の岐阜国体が成年として、初めての国体でしたので緊張したかもしれませんが、ルーキーとして活躍してくれました。彼も秋田の宝です！これから大学生としても、世界を舞台に戦う時も、ふるさとの秋田魂は忘れずにバリバリ活躍していただきたいと思っています。私も成年の国体初出場の時を思い出して、いいアドバイスができたと思いますし、新しい秋田県成年男子の仲間だと強く思いました。”

Q6 国体もすでに経験豊富な松岡選手の、その強さの秘訣は何ですか。

特別何かしていることはないのですが、学生や代表の試合と違って、国体はリラックスして試合に臨むように心がけています。出るからには優勝を目標にすることは当然なのですが、国体は『国民のお祭り』なので、あまり気負わずに試合ができています。自分たちが結果を残すことで県民のみなさんにも喜んでもらえるとうれお祭りに近づきますね。

Q7 仙葉選手は昨年少年種別でしたが、今年から成年種別へ変わったの試合はどうでしたか。

今まで以上に県民のみなさんの代表としてのプレッシャーを強く感じました。成年はチームの軸ですから、私たちの成績次第で少年種目に大きな流れを作ることができると考えていました。それが逆に自分の足かせとなり、思い切ってプレーすることができませんでした。成年で戦うには、メンタル力が足りないと感じました。

Q6 今後の目標、次のステップへの意気込みを聞かせてください。

(齋藤) “目標はもちろん来年の東京国体優勝です！成年男子はもちろんですが、成年女子、少年男女共、優勝めざして挑戦します！そして総合優勝するのが我々の最大の使命だと思っています。私が経験してきたことは全て出し惜しみなく選手に捧げます！私自身もまだまだ未熟者ですので年上も年下も関係なく、お互いに刺激しあいながら自分たちのフェンシングを磨いていきたいと思っています。また、会長、監督、コーチ、スタッフ、秋田のフェンシングを応援して下さる全ての皆様と一緒に優勝をめざして今日から練習していきます！最後に秋田県の全てのスポーツをする皆様と私たちの共通点は無限にあると思っています。お互いにいい汗をかいたり、様々なスポーツを観戦したり、感動したりして未来のスポーツを楽しむ子供たちの為にも！自分のためにも！一歩踏み出して挑戦していけたら最高だと思っています。長い文章になりましたが最後まで読んでいただいて感謝します！ありがとうございました。もし、どこかで私のことを見かけましたらいつでも声をかけてください！よろしくお願いたします。”

(松岡) まずはフェンシング競技で総合優勝すること。これが今後の国体での最大の目標です。自分たちがポイントを取り、秋田県が少しでも順位が上がれるよう、自己だけでなく少年の強化にも全力で協力していきたいと考えています。

(仙葉) 今年度は秋田から上京してきたばかりで、初めての一人暮らしやこちらの生活に慣れない部分も多く、地に足つかずの状態では時間が足りず過ぎてしまいましたが、一日一日を大切にすることをこれまで以上に意識し、大きな目標に向かって努力していきたいです。まずは来年開催されるユニバーシアードに出場することを目指します。また、様々な人と関わって、多くのことを吸収し自分を高めたいと思います。



レスリング 少年男子：フリースタイル 60kg級 第3位 秋田商業高校（3年） 吉川 航平 選手

Q1 出身学校を教えてください。

秋田東小学校-城東中学校

Q2 最後の試合が終わって、まず思った“一言”を教えてください。決勝に進めなくて悔しい。

Q3 今大会の結果【3位入賞】について感想を聞かせてください。

準決勝では、インターハイで負けた選手にまたも敗れてしまい、優勝に手が届かず、非常に悔しいです。

Q4 今大会に向けて、気持ちやトレーニングなどではどんなことを意識して準備をしてきましたか。

インターハイで自分の技は正確性に欠けていたため、スパーリングを通して技を丁寧に相手に仕掛けるよう、心掛けました。

Q5 競技生活の中で、一番自分を支えてくれた“モノ”は何（誰）ですか。

同学年のチームメイトです。レスリングは個人競技ですが、普段の練習から試合まで、共に切磋琢磨した仲間はライバルとしての存在であり、私生活の面は親友として、様々な場面で私を支えてくれました。国体の三位はチームメイトの力があってこそ入賞です。

Q6 吉川君にとってのレスリングとは。

私は幼い頃からレスリングに携わり、レスリング中心の生活から、やめてしまいたいと何度も思っていました。しかし今日では、レスリングを通じて心身共に成長し、人として成長できたことを自負しており、現在の私を形成する一部分であると思います。今後は大学に進学し、競技力向上と共に、心身を鍛え上げ、世界で活躍できる力を身に付けたいです。また、日本では普及率が低いレスリングをメジャースポーツにするべく、レスリング界に貢献できるような人間になり、生涯レスラーとして体を動かしていきたいです。



レスリング 少年男子：フリースタイル 84kg級 第3位 秋田商業高校（2年） 古城 涼真 選手

Q1 出身学校を教えてください。

山口大学教育学部附属光小学校-山口大学教育学部附属光中学校

Q2 最後の試合が終わって、まず思った“一言”を教えてください。悔しい

Q3 今大会の結果【3位入賞】について感想を聞かせてください。

今まで練習でやってきたことが試合に出せ、結果を残すことができた。準決勝の相手はインターハイで負けているので勝ちたかった。

Q4 今大会に向けて、気持ちやトレーニングなどでどんなことを意識して準備をしてきましたか。

自分の得意技を最大限に生かすために、意識を高めて反復練習や実戦練習に取り組んだ。

Q6 高校進学を機に秋田での競技生活となりましたが、何か苦労したことはありますか。また、秋田の好きなところを教えてください。

秋田での生活で苦労したところは、秋田弁がわかりにくく、秋田の人たちと話すときは苦労しました。秋田の好きなところは、食べ物美味しいところです。特に、米が好きなので、あきたこまち最高です。

Q8 レスリングの魅力と、古城君がレスリング選手として大切にしていることを教えてください。

レスリングの魅力とは、1対1で自分が磨いてきた技を出し合い、努力をすればするほど答えが出ることです。選手として大切にしていることは、負けていても絶対に諦めずに戦い抜くことです。また、どんな相手であろうと、チャレンジャーとして挑みます。



なぎなた 少年女子：試合 第3位 大曲農業高校（3年） 佐々木美紀 選手
大曲農業高校（3年） 矢野 千尋 選手
大曲高校（3年） 本多 幸生 選手

Q1 出身学校を教えてください。

(佐々木) 花館小学校-大曲中学校
 (矢野) 内小友小学校-大曲西中学校
 (本多) 太田南小学校-太田中学校

Q2 最後の試合が終わって、まず思った“一言”を教えてください。

(佐々木) 今まで頑張ってきたよかった!!
 (矢野) 良かったあー!
 (本多) 「ホッと(安心)した」ということ。

Q3 今大会の結果【3位入賞】について感想を聞かせてください。

(佐々木) 大会の日まで毎日練習してきたことが発揮できた大会でした。3位入賞できたのは、それまで支えてくださったみんなのおかげだと思います。
 (矢野) 3位決定戦の時は「絶対3位に入る」と意気込んでいましたが、勝つからは全然実感がありませんでした。ただ応援してくださった方々が喜んでくださる姿を見て嬉しくなりました。
 (本多) 「優勝」という目標には届きませんでしたが、自分たちの力を精一杯出し切った結果だったと思います。

Q4 今大会で一番記憶に残った試合と、その時の心境を教えてください。

(佐々木) 私は沖縄戦が一番記憶に残っています。遠征で戦ったときは全敗してしまつたので、勝てたときはとても嬉しかったです。
 (矢野) 沖縄戦と3位決定戦の香川戦です。沖縄には以前負けているので、そのリベンジと「必ず入賞する」という強い気持ちで臨みました。香川戦も「とにかく勝たなきゃ」という思いで一杯でした。
 (本多) 熊本県の春山選手との試合です。今まで憧れを抱いていた春山選手と、決勝進出を賭けた試合をすることができて、すごく緊張しましたがとても嬉しく楽しんで試合をすることができました。

Q5 今回、過去最高の結果【3位】を収められましたが、他にも佐々木さんは現地激励会での素晴らしい選手宣誓を行うなど大舞台に強い印象がありますが、試合中はどんなことを考えていますか。

私は中堅を務めました。先鋒が作ってくれた良い流れを壊さないで大将につなげよう、という気持ちで試合に臨んでいました。試合中は強気で、しかし冷静に相手を見て「必ず勝つて次につなげよう」という思いでした。

Q6 今回、過去最高の結果【3位】を収められましたが、これまでの競技生活で一番矢野さんを叱咤激励してくれた方はどなたですか。

結果を残せた今、友人、家族、先生方など多くの方から支えられていたことに改めて感謝しています。「一番」は簡単に決められませんが、その中でも言われれば、大農の森義直監督です。監督の言葉にはひとつひとつに深い意味があり、ストレートには伝えなくてもいつも選手のことを考えてくださっているのがわかっていました。時々飛び出すダジャレが心を落ち着かせてくれます。

Q7 今回、過去最高の結果【3位】を収められましたが、これまでの練習で本多さんが一番大切にできたことは何ですか。

指導者に教えていただいたことに+αをして練習に取り組んだことです。指導していただいたことに+αしたことで、1つの教えから様々なことを学ぶことができました。若い頃からなぎなたを行ってきた人たちに絶対に負けたくないという気持ちを常に持ち続けてきました。限られた練習時間の中で練習量より“質”の向上を重視して日頃の練習に取り組ましました。

Q8 みなさんにとってのなぎなたとは。

(佐々木) 私は高校に入ってからなぎなたを始めました。最初の頃は団体メンバーにも入れず、上達もできず、毎日とても悩んでいました。しかし、諦めることなく自主練習などを積み重ねた結果、団体メンバーに選ばれ、3位入賞を果たすことができました。そして、武道という競技生活を通して体力はもちろんのこと、精神力も鍛えられました。同時に仲間の大切さなどたくさんを学びました。今後はなぎなたを通して学んだことをこれからの学習などに活かし、地元秋田に貢献していきたいと思っています。

(矢野) “私にとってのなぎなたは「苦楽」そのものです。苦しくて辛くてへこむことがあっても、その分勝てたとき、自分のなぎなたができてきたときは喜びも大きかったです。みんなが支えてくれているのを感じられるから、試合は一人でも全然怖くなかったし、仲間の存在の大切さを知ることでもできました。スポーツから武道へ、団体プレーから個人競技へと、中学の時と勝手が違って戸惑いはありましたが、なぎなたという競技が「私」を見つけてくれたような気がします。

来春からは県外に就職しますが、なぎなたへの情熱を今度は社会人としての生活にぶつけるつもりで頑張りたいと思います。”

(本多) 自分を知り、成長させてくれる武道だと思います。先生に指導される中で、自分の弱さと向き合わなければいけない時が多かったです。私は、自分の弱さを受け入れることができず自分と向き合うことができませんでした。しかし、そんな苦しく辛い時も先生や仲間から支えて貰い乗り越えてくることができたのだと思います。なぎなたと出会ったことによって周りの支えの大切さを知り感謝の気持ちを持つようになりました。これからも、私と関わる多くの人に感謝の気持ちを忘れず、また自分と向き合いながら更なる成長を目指し生活していきたいと思っています。



レスリング 成年男子：フリースタイル 66kg級 第3位 早稲田大学（2年） 保坂 健 選手

Q1 出身学校を教えてください。

追分小学校-天王南中学校-埼玉栄高校

Q2 最後の試合が終わって、まず思った“一言”を教えてください。悔しかったですね。

Q3 今大会の結果【3位入賞】について感想を聞かせてください。

やっぱり、試合前は優勝することを考えていたので自分としてはすごく悔しかったですね。しかし、上位入賞できたことは自信になりました。

Q4 アスリートとして日頃から意識していること・大切にしていることを教えてください。

普段は意識とかはしてません。食べたいものを食べて飲みたいものを飲んでます。ただ、オンとオフの切り替えを大切にしています。やるときは自分が納得のいくまで練習します。

Q5 保坂選手の日頃の練習環境はどんなところですか。

毎朝5時30分に起きて朝練習をしています。朝は主にランニングやウエイトトレーニングを中心にやっています。メインは午後練習で約2時間30分レスリングをしています。主にスパーリング主体の練習です。練習自体は短いのですが周りの選手は、インカレチャンピオンやトップレベルの選手ばかりなので非常にいい練習が出来ています。

Q6 保坂選手にとってのレスリングとは？

確実に自分自身にとって特別な物です。何をしてもすぐに飽きてしまう性格なので何か一つの事をこんなに夢中にやったことはレスリング以外ないです。たまに試合で負けてたり上手い事いかない時はもうレスリングをやりたいなくなったりはしますがやっぱり気がついたらレスリングのことを考えたりしてますね。あとは、皆が期待してくれるからですね。特に小、中学と所属していたレスリング道場の関係者の方々は感謝しています。高校から県外に出てしまってもずっと気にかけてくれてたりするので。最終的には恩返しも含め自分自身の夢でもあるオリンピックで優勝すること目標に頑張っていきたいと思っています。



左から、古城選手 吉川選手 保坂選手



秋田銀行女子バスケットボール部紹介

創部から13年を数える秋田銀行女子バスケットボール部。社会人バスケットボールチームが目指す3大タイトル（全日本実業団バスケットボール選手権、全日本社会人バスケットボール選手権、全日本実業団バスケットボール競技大会）で通算12回の優勝を誇るチームである。

今年度はこれまでに開催された3大タイトルのうち、9月の全日本実業団バスケットボール選手権では2位、全日本社会人バスケットボール選手権では準決勝敗退となっはいるものの秋田銀行女子バスケットボール部を主体に構成した岐阜国体成年女子チームが、わか杉国体以来の優勝に輝き多くの県民に感動と勇気を与えてくれた。



秋田銀行女子バスケットボール部を語る上で、忘れてならないのが宿命のライバルの存在。お隣山形県の社会人チーム、山形銀行女子バスケットボール部である。これまでも、そして今年度も、しのぎを削る戦いを繰り返してきた。参考までに今年度の直接対決はここまで1勝2敗。お互いのチームを主体に構成した岐阜国体の予選となる東北総合体育大会では秋田県が勝利。一進一退の攻防を繰り返し、全国トップクラスの戦いを演じている。

今年度、直接対決が予想される大会は2月に開催される全日本実業団バスケットボール選手権のみ。今年度無冠で終わるわけにはいかない秋田銀行の最後の巻き返しに期待したい。



青木 拓郎

ヘッドコーチ紹介

東京都出身。豊多摩高校→東京学芸大学。
第一勧銀、広島銀行、JOMO、日立ハイテクノロジーズでアシスタントコーチ、ヘッドコーチを経て秋田銀行へ。就任2年目。「勝つためには点を取りに行く」と語りながらも、ディフェンスのバリエーションも豊富で、相手チームの嫌がるマンツーマンからゾーンへの切り替えなど、戦況に応じた戦術を展開する点は、これまでのコーチングのキャリアと自身の向上心によるものであることがうかがえる。フルタイムの仕事を終えてからの練習に対応しながら、日本一を目指すチームと選手に対して、リスペクトも忘れない。



キャプテンから一言

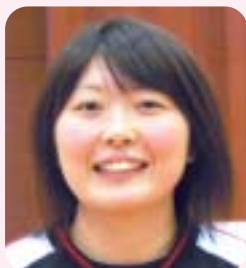


保坂 和音

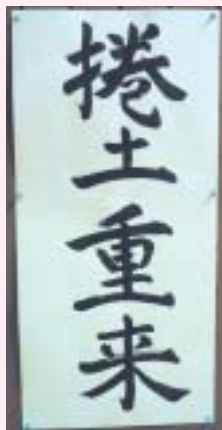
フルタイムの業務と練習を、集中力を切らさずにやり遂げることで、社会人プレーヤーとしてのプライドが形成されることを実感しています。もちろん各選手、自分一人で業務と練習の両立をできているとは思ってはいません。職場の方々のサポートや、心強い応援に支えられて私たちの活動が成り立っていると実感しています。

地元開催の全日本社会人大会では準決勝敗退という結果に終わってしまい、チームのモチベーションも下がり大変な時期もありましたが、たくさんの励ましを力に変え、東北実業団選手権では山形銀行に勝つことができました。みなさんの励ましに対し、その感謝の気持ちを表す手段は、コートでの結果だと思っています。これからも全力で頑張ります。応援よろしくをお願いします。

マネージャーから一言



黒澤 早苗



マネージャーとしてチームを支え2年目になりますが、このチームはとにかく元気過ぎることが取り柄だと思っています。仕事とバスケットボールの両立は確かに大変ではありますが、たくさんの声援によって頑張れていると思います。

私自身、マネージャーとしてはまだまだ半人前ですが、選手に対して厳しさも持ちながら接していくことの重要性を最近痛感しています。マネージャーとしての成長が、チームの成長につながっていることを自覚しながら、心を鬼にして頑張っていきたいと思っています。応援よろしくをお願いします。

※黒澤マネージャーの顔写真の隣にある「捲土重来」は黒澤マネージャーの書で、地元開催の全日本社会人大会でもやの準決勝敗退後、沈むチームに対して投げ掛けた言葉だそうです。

取材後記



取材当日の練習開始時間は18時30分。繁忙期になると開始時間がもっと遅くなったり、全員がなかなか揃わないこともある。練習メニューの密度は濃く、一切の無駄がない。それを選手達は黙々とやり遂げていく。練習を終え、ミーティングを終えた時間は22時30分を過ぎていた。その後もアイシング等のケアをおこなう選手もおり、ただただ頭の下がる思いであった。



平成24年度 秋田県高等学校強化拠点校監督研修会



8月27日（月）秋田キャッスルホテルにおいて、平成24年度秋田県高等学校強化拠点校監督研修会が開催されました。この研修会は、16競技延べ24競技の強化拠点校の競技力向上を目的としている。今回は、平野一成氏（ナショナルトレーニングセンターJOCエリートアカデミー事業・ディレクター）、伊藤リナ氏（ナショナルトレーニングセンターJOCナショナルコーチアカデミー事業・アシスタントディレクター）から、味の素ナショナルトレーニングセンターで実施しているJOCエリートアカデミー事業及びJOCナショナルコーチアカデミー事業の取り組み状況や成果等について、それぞれ御講演いただきました。監督からは、競技力向上を目指し、自己の意識醸成を図ろうとする指導者の熱意が感じられました。





秋田県中学生強化選手指定証交付式

11月25日（日）秋田キャッスルホテルにおいて、秋田県中学生強化選手指定証交付式が開催されました。

この制度は、将来全国規模の大会で上位入賞することができるよう、選手強化及び競技力向上を図ることを目的として、平成23年度からスタートし、秋田県、秋田県教育委員会、秋田県体育協会の3者連名により指定され、各競技団体等が主催する合同練習・合宿や教育プログラム合宿（マナー・栄養指導、学習支援）への参加、医科学サポートなどを受けることができます。

今回は、サッカー、バレーボール、陸上競技、ハンドボール、剣道、相撲、スキー、テニス、新体操、柔道、バスケットボールの11競技、62名の選手に指定証が交付されました。また、米田教育長からのメッセージ「now or never（今頑張らないと）」とスポーツ立県応援キャラクター「スパッキー」がプリントされたポロシャツも選手全員に配付されました。堀井副知事から激励の言葉をいただいた後、福田優介選手（剣道・勝平中学校3年）が選手を代表して「競技力向上はもちろんのこと、学習面、生活面においても指定選手としてふさわしい行動をとり、日々努力していきたい」と決意表明をしました。

なお、交付式終了後には選手・保護者を対象として、小倉晃輔トレーニングアドバイザー（秋田県スポーツ科学センター）によるメンタルトレーニング講習が行われました。



堀井副知事より各競技代表者へ指定証の交付



堀井副知事より激励の言葉



代表者決意表明
福田優介選手（剣道・勝平中学校3年）



小倉トレーニングアドバイザー
によるメンタルトレーニング講習



第67回 国民体育大会報告会



平成24年11月27日（火）秋田キャッスルホテルにおいて、第67回国民体育大会報告会が開催されました。来賓として粟津尚悦県教育次長、齊藤讓県スポーツ振興課長、各競技団体から役員、強化担当者など約80名が出席しました。

「昨年の天皇杯を大きく下回る結果となったが、今一度原点に立ち返り、競技団体とともに強化に取り組んでいきたい」と鈴木洋一会長が挨拶しました。その後、國安教善副会長が国体の総括を行い、皇后杯3連覇を成し遂げる活躍が見られたスキー競技、成年女子において5年ぶりの優勝を飾ったバスケットボール競技、少年女子において過去最高の3位入賞を果たしたなぎなた競技の代表者が、それぞれの競技団体における強化対策や勝利の要因を紹介しました。



【スキー競技】
秋田県スキー連盟副会長
佐藤 有一



【バスケットボール競技】
成年女子監督
栄田 直宏



【なぎなた競技】
少年・成年女子監督
梅津 恭子

ス キ ー 競 技

若手選手を指導し、他の選手の目標・模範となりリードしてくれている県内企業所属の成年選手が果たしてくれている役割が大変大きく、各種別で満遍なく得点を重ねる要因につながっているという説明がされた。

バスケットボール競技

情報収集・戦力分析からより明確な戦術を準備し、地道なトレーニングの積み重ねによって選手に戦術を浸透させたことやミーティングを重ねて気が緩まないようにしたことなどが優勝へとつながったという説明がされた。

なぎなた競技

昨年の国体出場者を含むバランスの良いメンバーで臨むことができたうえ、8月と9月に集中して県外遠征を実施できたことや大会直前の県外指導者招聘により満足のいく状態まで選手が仕上がったことなどが3位入賞につながったという説明がされた。



いざ、冬の陣！

12月23日開幕のバスケットボールウインターカップを皮切りに、高校生スポーツ冬の陣が開幕する。出場する各高校のチーム状況と大会への抱負を紹介する。

- ・全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 12月23日～12月29日 広島県 広島県立総合体育館
- ・全国高等学校ラグビーフットボール大会 12月27日～1月7日 大阪府 近鉄花園ラグビー場
- ・全国高等学校駅伝競走大会 12月23日 京都府 西京極総合運動公園陸上競技場
- ・全日本バレーボール高等学校選手権大会 1月5日～1月13日 埼玉県 さいたまスーパーアリーナ
- ・全国高校サッカー選手権大会 12月30日～1月14日 東京都 国立競技場

全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(男子) 能代工業高校(43年連続43回目)



佐藤信長監督

「必勝不敗」を合言葉に、これまで他の追従を許さない常勝軍団としてその名を轟かせた能代工業高校バスケットボール部。ここ数年は海外留学生などを擁する全国上位の壁を破れずに苦戦が続いているものの、着実に復活の足音を響かせている。43回目の出場を目指した県予選では、ディフェンスがすべてと語る佐藤信長監督が「現段階としては合格点」という仕上がりを見せた。広島で開催されるウインターカップでは、雑なプレーにならないよう基本を徹底させた上で、「速いバスケット」から「さらに速いバスケット」を目指し、伝統の平面バスケットをさらにグレードアップさせたい。とチームの完成像を話す監督からは、新しいスタイルの確立に手応えを感じている様子が見ええる。監督が全幅の信頼を寄せる土屋主将を中心に、自分達で考え、話し合い、解決策を見出すことができるのが今年のチームの魅力。「どんな相手と戦っても絶対に走り負けず」と選手が胸を張る伝統に、どんな色が変わりながら復活の勝利を積み重ねていくのか。コート上の5人と、ベンチの選手・スタッフが一体となって熱く戦う姿は、王者の復活を期待させてくれる。



土屋真人主将の話

県予選決勝では「休むことなく走り続ける」、「ブレイクからの攻撃」、「リバウンドの獲得」の3点を置いて臨みました。ディフェンスも機能し、満足できる内容だったと思っています。ウインターカップまでの課題は、リバウンドを獲得するためのボックスアウトの確認を徹底し、セカンドチャンスを確実に得点に結びつけるようにしたいと考えています。もちろん目標は日本一の奪還です。

全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(女子) 湯沢翔北高校(4年連続12回目)



樋渡 真監督

下級生の時からゲーム経験の豊富な三年生を中心に、今年最後のウインターカップに臨む。県予選では三年生の大会に向けた思いが硬さにつながり、思うようにリバウンドが取れず苦しい場面も見られたものの、徐々に落ち着きを取り戻し、機動力を活かした翔北バスケットが展開された。全国選抜に向け樋渡真監督はチームの課題として「リバウンドを含めたインサイドの戦いを制することと、得点力を高めること」を挙げた。全国を見据えた時、高さを補うために、持ち味である外角からの攻撃は有効であるものの、それだけでは戦えない。どういう工夫(ポジショニング、スペース作り、コンビネーション)でゴール下で戦えるかが鍵を握るため、繰り返し確認をおこなっている。「全国トップとの力の差はある」と監督は言うものの、経験豊富な三年生と、抜群の機動力に加え、相手チームの繰り出す様々な戦術に対抗し打破する引き出しをバリエーション豊かに持ち合わせている今年のチームはベスト8以上の期待を抱かせてくれる。個々の体力と基本技術、そしてチームの戦術をさらに高め、チーム集大成の大会に挑む。



加藤三津子主将の話

県予選の決勝では、最後の全国予選ということで気持ちが入り過ぎてしまった面もありましたが、大会全体を通して、シュートも思い切って打つことができ、全国選抜に向け、まずまずのゲームができたと思っています。リバウンドが今後の課題になりますが、チーム最大の持ち味である「40分間走れるチーム」という点を全面に出しながら、課題を克服しベスト8以上を目指します。応援よろしくお願ひします。



全国高等学校ラグビーフットボール大会 秋田工業高校(2年ぶり64回目)



黒澤光弘監督

平成20年に監督に復帰し、再建に向けてゼロからスタートして学校・OBをはじめたくさんの方々のサポートを背に5年目を迎えた。1925年創部、その長い伝統に築き上げられたラグビー哲学である、基礎基本を重視したオーソドックスなラグビーに、新たにアップテンポの攻撃を取り入れたチームスタイル。これまで結果を残せずにいたが、今年はそのラグビースタイルが完成しつつある。選手達は、春の全国選抜ベスト4という結果が大きな自信・励みになり、常に全国を意識した練習を積み重ねてきた。今大会、これまでの実績・ラグビースタイル等総合的に判断された結果、Aシードという高い評価を得て、12月30日の初戦を迎えることになる。指揮官は、「今回の評価をプレッシャーに感じることなく、あくまでもチャレンジャーとして戦う。勝負に徹する姿勢は重要だが、それが消極的で受け身になり自分たちのスタイルを見失うことだけはさせたくない」と、あくまでもセオリーを守りながらも、60分間常にトライを狙う攻撃的なラグビーを選手たちに落とし込む。

今年こそ古豪復活との呼び名も高く、晴れの舞台上で思い切り勝負し、結果を残してくれることに誰もが強く期待する。



成田秀平主将の話



今年一年間、主将でありながら体調不良(原因不明の高熱)で万全な状態で出場できた大会は、ひとつもなかった。そのため、練習も試合もチームに本当に迷惑をかけた。今は、体調も良く、万全なコンディションで今までの鬱憤を晴らせそう。目標は、『全国制覇』である。ターゲットは、「東福岡」と「大阪」である。今まで取り組んできたチームスタイルである、『アップテンポでボールを動かす攻撃的なラグビー』を花園で貫き、体を張った必殺のタックルで頂点を目指す。

全国高等学校駅伝競走大会(男子) 花輪高校 (2年連続5回目) 全国高等学校駅伝競走大会(女子) 花輪高校 (2年ぶり6回目)



佐藤 拓監督

「男女とも今までの花輪高校にない魅力あるチームに成長している。向上を止めない、身になる取り組みを展開していきたい。その先に、12月23日に開催される全国高校駅伝でのチームベストの走りにつながり、入賞争いができる」就任5年目の佐藤拓監督のもと、男子は2年連続、女子は2年ぶりの都大路に向け、いよいよ最終段階を迎えようとしている“チーム花輪”。全国駅伝を1年の計の大会として位置づけ、年度当初から目の前を大切に、決して焦らず取り組んできた。春の雪解けや気温の上昇も遅く不調者もいたが、今大会を見据えさせて辛い時も粘り強く努力できた。例年以上に各自練習やOFFの時間を作り、精神的にも自立できたチームに少しずつ成長してきた。今年は男子が12名と部員数が少なく、一人も削られない状況の中で進んできた。その中で、緊張感から多くの強さが生まれ、特に駅伝に大切な輪の力につながった。逆に女子は



18名と多く、馴れ合いや意識の低下を招かない日常生活からの雰囲気作りを大切にさせ、結果、チームの底上げへとつながりお互いの力を引き出すことが可能になった。

日頃の生活こそ妥協せず、そうして作り上げてきたチーム力で、今年は県内初のアベック優勝で全国への切符を獲得した。チーム一丸で臨む冬の大舞台“京都”を目前に、見据えた目標は決して揺らぐことない。



小坂橋天斗主将の話



連覇のプレッシャーがあった中で、一人ひとりが自分の力をしっかりと出してきたレースだったと思います。しかし、全国レベルと比べるとまだまだ力不足なので、普段の日常生活から更に内容を高め、より充実した練習を積み重ねて行きたいと思います。都大路では昨年のリベンジを果たすとともに、日頃支えてくださっている多くの方々に感謝と感動を伝えるため、上位入賞を目指して自分達の最高の走りをします。

佐々木香穂主将の話



全県駅伝では、昨年の悔しさをバネにチームベストで優勝することができました。前半区間で流れを掴み、後半区間で更にリードを広げ、チームの持ち味を活かすことができました。しかしまだ、私たちが掲げている目標には届いていません。その目標を全国の舞台上で達成するため、私たちは練習の中から一人ひとりが1秒を削る努力を重ねています。本番では、支えてくださっている方々への感謝と、秋田県代表の誇りを胸に、全員で最高の襷を継いでいきます。



全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー・男子) 雄物川高校(18年連続18回目)



宇佐美義和監督

県予選では、他校を寄せ付けぬ圧倒的な強さで18年連続18回目の春高への出場を決めた雄物川高校。全国大会で勝つためには単純なミスからの連続失点をなくすことと宇佐美監督は話す。雄物川高校の「粘り強いバレー」を展開するために、練習の大半はレシーブ練習に費やされる。他の学校では絶対こなせないと言った宇佐美監督が話すレシーブ練習に選手達は大きな声で仲間に声を掛け、励まし合いながら必死にボールに食らいついていた。攻撃については、3年伊藤の高さのあるスパイクに加え、監督が成長著しいと話す2年川村のセンターからのバックアタックが加わり攻撃パターンが増えたことで攻撃力はアップしている。

ここ数年全国でベスト16の壁を超えられないでいるが、「ベスト8に入る力は持っている」との監督の言葉に、春高の舞台で雄物川の選手達が躍動する姿を期待したい。



柿崎瑞貴主将の話



自分達は練習だけでなく、学校生活の中でも常に行動を共にして団結力を高めてきました。自分達が今までバレーボールに打ち込むことが出来たのも、周りの方々の支えや協力があったからこそです。その人達のためにも、執念を持ってどこまでもボールにくらいつくプレーで、チーム一丸となって優勝目指して頑張ります。

全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー・女子) 由利高校(2年連続24回目)



菅原 清監督

春高予選では、すべての試合で1セットも落とさずストレート勝ちで2年連続24回目の出場を決めた。他を圧倒しての優勝であったが、ここまで順調だったわけではない。インターハイ予選では決勝で敗れ、3年連続の出場を阻まれた。また、ぎふ清流国体では由利高校中心の選抜チームでベスト16という結果を残したが、国体終了から春高予選までの期間が短く、合宿や練習試合がほとんどできないまま予選を迎え、不安はあったと菅原監督は話す。しかし、インターハイを逃した悔しさや、春高予選で初めてメンバー入りした選手の活躍で優勝を手に入れた。

文武両道を掲げるバレー部は、進学希望の3年生が5時半まで受験勉強をしてから練習に参加している。昨年は国公立の大学にバレー部から4名合格しており、学習に対する意識の高さも伺える。

監督は「バレー部は部活動だけでなく、勉強にも励み、生活態度もしっかりしている。高校内はもちろんのこと、秋田で1番のトップアスリートを目指して活動している」と力強く話した。



齋藤加奈子主将の話



インターハイ予選で負けてから、その悔しさを忘れず練習してきました。春高予選では1セットも落とさず、決勝でも自分達のバレーをして勝つことができました。特にブロックの強化を重点的にやってきた成果が出せて良かったです。春高に向けて、勝負所でしっかり自分達のプレーが出来るようにさらに技術面・精神面を高めていきたいと思います。1戦1戦全力で由利高校伝統の粘り強いプレーで勝ち進み、ベスト8目指して頑張ります。応援よろしくをお願いします。

全国高校サッカー選手権大会 西目高校(2年連続13回目)



畠山 啓監督

2年連続冬の選手権に出場する西目高校。天候不順で思うような練習ができず、体育館での練習が中心となっている。畠山監督は、「対戦相手が決まり、相手の情報を集めて対策を練っていくが、まず大切なことは限られた状況の中で選手権に向けていかに心と身体のコンディションを整えていけるかである」と話した。練習では、西目高校のスタイルの「パスをつなぐサッカー」を高めるための練習が中心である。ミニゲームでは監督自ら選手とプレーをしながら指示を出す。昨年の選手権で無得点だったため今年は得点を取りたいと話するように、パスをつなぎながら常にゴールを狙う姿勢が現れていた。

格上の相手に対しては、なにより立ち向かう強い「覚悟」が大事と監督は話す。昨年取れなかった1点と勝利を目指し選手権に挑む。



佐藤憂弥主将の話



インターハイ予選で初戦敗退し、その悔しさから、「冬の選手権には必ず出場しよう」と全員で誓い、生活面から気持ちを入れ替えて練習に励んできました。県予選では西目高校のパスサッカーがうまく機能しなかったため、全国大会ではそれを出せるよう準備をしていきたいと思っています。

昨年の選手権では無得点だったので、まずは得点を取りたいです。得点を取ることでチームの士気が高まり勝ちチャンスが出てくると思います。県勢8年ぶりの勝利をあげ、秋田県にいい報告をしたいです。応援よろしくをお願いします。



強化拠点校紹介



聖霊女子短期大学付属高等学校 テニス部

学校データ

明治41年に創設された、秋田県内唯一のミッションスクール。「光の子として歩みなさい」という聖書のことばを教育目標に、カトリック精神を基盤とし、生徒の個性と感性を大切に、健やかな心を育みながら生徒自身に秘められた可能性を伸ばす教育を実践している。国際コース、特進コース、普通コースがある。全国屈指の強豪フェンシング部も強化拠点校として活躍している他、ロンドンオリンピック女子バレーボールチームの一員として銅メダルを獲得した江畑幸子選手も卒業生。秋田県秋田市南通みその町4-82



テニス部紹介

昭和37年の創部以来、全県総体20回の優勝を数え現在12連覇中。東北選手権優勝9回、東北選抜大会優勝7回、インターハイ最高成績は平成18年のベスト16。

今年の北信越インターハイでは、下級生中心のメンバー構成で残念ながら学校対抗1回戦敗退を喫したものの、東北地区では常にトップレベルの実力を維持し、次年度以降の飛躍が大いに期待される。練習環境は全面人工芝のコートが常時3面使用可能で、最大5面での練習が可能な県内では最高の練習環境にある。簡易照明もあり申し分ない。雪国秋田の最大の課題となる冬期間の練習は、校内を活用した練習がメインとなるが、秋田市河辺の北野田テニスコートの屋内コートを利用するなど、雪のハンディを克服するべく、練習メニューにも工夫を加えながら取り組んでいる。

部員はテニス経験者ばかりではなく、他の運動部の出身者も在籍しているが、指導歴の豊富な半田隆志監督の下、学校の方針により18時30分完全下校という条件をマイナス要因とせず、充実した練習メニューをテンポ良く展開し、短時間ながら密度の濃い練習で鍛え上げている。国体優勝経験のある、秋田県体育協会テクニカルアドバイザー野中生夏コーチも常時練習をサポートしており、充実した指導体制にある。

監督紹介

半田隆志（はんだ・たかし）

1964年9月20日生まれ。秋田市出身。

秋田高校から秋田大学へと進み、テニス部で活躍。昭和63年4月より聖霊高校に赴任し、テニス部顧問、監督としての指導歴は25年を数える。

「人間が育たなければ強くはなれない」という指導方針で、技術も大切だがそれを使いこなすだけの人間力の必要性を、様々な手法により生徒に伝えている。また、テニス技術もさることながら、メンタルトレーニングやフィジカルトレーニングに関する知識も豊富で、様々な角度から練習メニューをコーディネートするなど、きめ細やかな指導を実践している。





メンタルノート



半田監督のこれまでのキャリアの中で、様々な人達との出会いがあり、そこから吸収し練習に活かされているものがたくさんあるが、このメンタルノートもその一つ。たくさん書けばいいというわけではないものの、内容を見ていると生徒の心の成長が感じられ、それとともに書く量も断然増えてくる。書くことだけがすべてではなく、壁にぶつかった時にこのノートを読み返すことで、壁を乗り越えるヒントが必ず生まれてくるはず、と監督は語る。

聖霊高校テニス部キーワード

聖霊高校テニス部には過去の卒業生が残っていた言葉がある。

「この一球は絶対無二の一球なり」

～福田雅之助氏の言葉より～

これは全県総体の連覇を聖霊高校と秋田商業高校が交互に繰り返していた平成8年の卒業生が練習前の円陣で言い始めた言葉で、今なお練習前には全員で復唱している。



キャプテンコメント

田中虹河(2年)



3年生が引退し、新チームになり最初の目標としていた東北選抜大会において優勝を果たし、3月の全国選抜大会への出場権を獲得でき良かったと思います。国体以降、けが人が相次ぎなかなか思うような練習ができない時もありましたが、みんなでカバーし合いながら協力してきた結果だと思っています。

今のチームの最大の魅力は「明るさ」だと思っています。みんなが集中し、表情良く明るく試合に向かえた時は結果もついてきてきています。今年のインターハイでは勝てませんでしたので、全国大会では過去最高のベスト16の壁を破り、ベスト8以上を目指したいと思っています。



年間スケジュール

- 5月 支部総体
- 6月 全県総体
- 8月 インターハイ、県外遠征
- 10月 国体
- 11月 全県新人、東北選抜
- 12月 強化合宿

練習メニュー

- 平日 15:50～18:10 終了
- 土日祝日 9:00～16:00 終了
- 練習メニューは、大会スケジュール等によって作成される



地域住民が主役
住民総参加型スポーツイベント

チャレンジデー

チャレンジデーとは

カナダ生まれ、毎年5月最終水曜日に世界中で実施の住民総参加型スポーツイベントです。人口規模の同じ自治体が一日15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率 (%)」を競う事業です。一日の終了時刻は午後9時ですが開始時刻は参加自治体で決めることができます。敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎等のポールに1週間掲揚し相手の健闘を称えるというユニークなルールが特徴ですが、近年は勝敗に関係なくお互いの健闘を称えて両自治体旗を掲揚しているケースが多くなっています。

本県は、全国最多の自治体・地域の参加となっていますが、さらに多くの参加を目指しています。

事業効果

地域スポーツ振興、世代間・地域交流、地域活性化、自治体間交流などの促進。

実施自治体・地域の動向

- 24年度 全国 121自治体・地域 (43市 31町 8村 39地域)
秋田県 18自治体・地域 (3市 4町 1村 10地域)
- 25年度 秋田県市町村参加予定自治体 (平成24年11月現在)
12市 5町 1村 (25年度より自治体単位が正式なエントリーとなる。地域単位は廃止)





ひろがるスポーツの輪
元気なひとづくり 元気な地域づくり

＝総合型地域スポーツクラブ＝

総合型地域スポーツクラブは、地域のスポーツ活動や健康づくりをサポートします。体力や年齢、技術、趣味、目的に応じて、子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛する人々が参加できる、総合的なスポーツクラブです。

いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも、スポーツに親しむことを目指しております。

期待される活動

健康増進



地域活性化



高齢者の生きがい



積極的な社会参加



青少年健全育成



世代間交流の推進



県南地区

- ① 大曲スポーツクラブ
内小友スポーツクラブ
おおたスポーツクラブ
- ② NPO法人角館総合型スポーツクラブ
たざわこスポーツクラブ
NPO法人きたうらアクススポーツクラブ
- ③ 美郷町総合型スポーツクラブ
- ④ NPO法人よこてスポーツクラブ
大森スポーツクラブさくら
- ⑤ チャレンジスポーツクラブいなかわ
湯沢ゆうゆう総合型地域スポーツクラブ
NPO法人こまちハート・オブ・ゴールド
みなせスポーツ・文化クラブ「楽日人」
- ⑥ 仙人の郷スポーツクラブ
- ⑦ 羽後町スポーツクラブ

スポーツ実施率の向上



一貫した指導体制



学校運動部との連携



障害者との交流



県央地区

- ① グリーンスポーツ倶楽部
NPO法人スポーツクラブあきた
グリーン宴会
NPO法人エスポルチ秋田
秋田ノーザンブレッツ
ラグビーフットボールクラブ
下浜スポーツクラブ
ユニオン城東スポーツクラブ
弥生スポーツクラブ
S・リアル・ジャポンスポーツクラブ
桜・遊
T・Tスポーツクラブ
総合型スポーツクラブLaspoあきた
- ② 男鹿市総合型地域スポーツクラブ
- ③ 昭和スポーツクラブ
- ④ 五城目総合型クラブ ゴスパル
- ⑤ 八郎潟町総合スポーツクラブ
- ⑥ いかわスポーツクラブ
- ⑦ スポーレおおがた
- ⑧ 尾崎スポーツクラブ
SPORTS POPORO
スポーツ健康クラブ西目
- ⑨ BSスポーツクラブにかほ

県北地区

- ① NPO鹿角くらすた
NPO法人鹿角ウインブルスポーツクラブ
十和田スポーツクラブ
- ② 小坂町スポーツクラブ
- ③ 大館総合型スポーツクラブ
プレイングトルシーダ大館
スポーツクラブひない
- ④ 森吉クマガラススポーツクラブ
小猿部スポーツクラブ
あいあいクラブたかのす
- ⑤ かみこあに総合型クラブ スマイル
- ⑥ 常盤の里スポーツクラブ
東能代地区にこにこスポーツクラブ
ニツ井きみまちスポーツクラブ
- ⑦ 琴丘地域スポーツクラブ連盟
山本地域スポーツクラブ
八竜地域スポーツクラブ
- ⑧ 八森はたはたスポーツクラブ
- ⑨ ふじさとスポーツクラブ



秋田県スポーツ科学センターだより

今年度前期のスポーツ振興班の取り組み状況を紹介します。

(※実施回数や参加人数は平成24年10月末現在のものです。)

1 あきた元気アップスポーツ推進事業

◎各種スポーツ・健康教室の開催

- ①あきた元気アップ円熟塾(通年 火曜日午前、水曜日午前・午後)
簡単な筋力トレーニングや気軽にできる健康体操を組み合わせた運動プログラムを提供しています。
実施回数53回、のべ4,659人参加(1回平均約90人)
- ②あきた元気アップウォーキング教室
自分の体調にあった歩き方や水分補給の仕方等、安心・安全なウォーキングプログラムを提供しています。
実施回数11回、のべ362人参加(1回平均約30人)
11月からは秋田市立体育館での室内ウォーキングを行っています。



2 各種講習会の実施

- ①ウォーキングインストラクター養成講習会 H24/4/14~15, 10/28
ウォーキングの知識・技能を学び、一般県民及び地域住民に普及する指導的人材を育成しています。
(2回 18市町村 49人)
- ②体験クライミング H24/5/5, 6/10, 8/26, 10/8
秋田県スポーツ科学センターのクライミングウォールを使用して県山岳連盟の指導のもと、安全に体験してもらっています。(4回 296人)
- ③クライミングウォール認定講習会 H24/4/15, 5/27, 8/5, 9/2, 10/21
秋田県スポーツ科学センターのクライミングウォールの利用について安全確保の技術と知識を習得しています。(5回 58人)
- ④8人制バレーボールC級審判員認定講習会 H24/5/12, 8/4
秋田県で考案された子どもから高齢者まで気軽に楽しめる8人制バレーボール競技を一般県民に普及させるための審判員を養成しています。(2回 24人)
- ⑤秋田県スポーツ推進委員初任者研修会 H24/10/27
新任スポーツ推進委員の職務に関する認識を深め、地域スポーツ振興に必要な知識及び技能について研修し、資質の向上を図っています。(1回 19人)
- ⑥秋田県総合型地域スポーツクラブマネージャー養成講習会 H24/7/7~8 ユースパル
総合型地域スポーツクラブの運営のための知識と理解を深め、運営の中心となる人材を養成しています。
(1回 33人)
- ⑦円熟塾指導者・リーダー養成講座 H24/5/22, 6/26, 7/24, 8/28, 9/25, 10/23
健康体操の地域での指導者やリーダーを養成しています。(6回 78人)
- ⑧秋田県体育施設研究協議会 H24/10/12 トレーニングセンターみさと
秋田県の体育施設関係者が一堂に会し、体育施設のより良い管理運営の在り方とマネジメント等について研究協議し、地域の体育スポーツの振興を図ることを目的としています。(1回 47人)

3 県庁出前講座

県民の要請に応じて、スタッフが全県各地に出かけています。

- ①あきた元気アップ円熟塾
ストレッチや簡単な筋力トレーニングなどの健康講座です。(19回 1,003人)
- ②ウォーキング教室
ウォーキングの基礎的な知識や技術についての講座です。(3回 123人)



4 セカンドスクール・インターンシップ

幼・保、小学生、中学生の職場体験や高校生、大学生の就業体験で多くの学校が当センターを訪問しています。

セカンドスクール(32校 490名) インターンシップ(3校 6名)

5 秋田県広域スポーツセンター事業

◎総合型地域スポーツクラブを核とした地域活性化モデル事業

この事業は、総合型地域スポーツクラブと市町村行政とが連携した健康づくり事業を展開することで、地域住民のスポーツ・運動実施率の向上と地域コミュニティの醸成を図ることを目的としています。平成23年度からモデル事業に取り組んでいるのは、つぎの3クラブです。

- ・ 県北地区 (NPO法人鹿角ウインプルススポーツクラブ)
- ・ 県央地区 (特定非営利活動法人スポーツクラブあきた)
- ・ 県南地区 (大曲スポーツクラブ)



鹿角ウインプルススポーツクラブ
はつらつ教室



特定非営利活動法人スポーツクラブあきた
チャレンジキッズプログラム



大曲スポーツクラブ
健康教室

◎総合型地域スポーツクラブの県内設置状況 (平成24年10月1日現在)

総合型地域スポーツクラブは55クラブが設立済みで、11クラブが設立に向けて支援を受け、今年度中には6クラブが設立予定です。

総合型クラブ 県内各地で生涯スポーツ交流

総合型地域スポーツクラブの定着や発展・促進させることをめざし、県内の各地区や全県一斉の交流大会を開催し、設立済み・創設準備中の総合型地域スポーツクラブの関係者による情報交換やスポーツを通じた交流を行うことでクラブの活性化を図っています。



県北地区交流会 10月14日
(森吉総合スポーツセンター)



県央地区交流会 9月8日
(大潟村多目的運動広場)



県南地区交流会 11月17日
(奥羽山荘グラウンドゴルフ場)

◆秋田県総合型クラブ育成支援事業 8人制バレーボール交流大会◆

(11/17 男鹿総合体育館)



白熱したゲーム展開と参加者の笑顔



開会式ではナマハゲも歓迎



私たちは「スポーツ立県あきた」を 応援しています

【法人】

秋田銀行	秋田県 空手道連盟	秋田県中学校 体育連盟	有限会社 秋田工房
秋田ジंकソリューションズ 株式会社	秋田ジंकリサイクリング 株式会社	秋田製錬 株式会社	秋田中央交通
株式会社 アキタ・ランドシステム	秋田リサイクル・アンド・ ファインパック株式会社	秋田レアメタル 株式会社	有限会社 飛鳥ハウジング
株式会社 安藤醸造	有限会社 インテリアマコト	羽後交通	エコシステム小坂 株式会社
有限会社 大内電気	大館地区 DOWA グループ	株式会社 工藤米治商店	グリーンフィル小坂 株式会社
小坂製錬 株式会社	五城目トーヨー住器 株式会社 本荘店	株式会社 サノ・ファーマシー	山王整形外科医院
昭和電気工業 株式会社	積水樹脂 株式会社	DOWAセミコンダクター秋田 株式会社	DOWAテクノロジーサーチ 株式会社
DOWAホールディングス 株式会社秋田事業所	日本海警備保障 株式会社	株式会社 日本ピージーエム	株式会社 花 徳
北秋容器 株式会社	横山板金店	※あいうえお順 ※敬称略 ※11月22日受付けまで	

【個人】

三浦 義弘

※敬称略
※11月22日受付けまで



法人

株式会社アイセス	アイネックス株式会社	株式会社アールシー・テック	A A B 秋田朝日放送
秋田運送株式会社	秋田協同印刷株式会社	秋田空港ターミナルビル株式会社	秋田経理情報専門学校
秋田県建設機械器具リース業協会	秋田県自動車販売店協会	秋田県信用組合	秋田県信用保証協会
株式会社秋田県分析化学センター	秋田魁新報社	秋田車体株式会社	秋田信用金庫
秋田県石油商業協同組合	秋田ゼロックス	秋田総合リース株式会社	秋田中央印刷株式会社
(株)秋田中央機工	A K T 秋田テレビ	株式会社秋田デンカ	秋田東和電材株式会社
秋田ビューホテル	秋田キャッスルホテル	A B S 秋田放送	秋田ホーチキ株式会社
秋田瀝青建設株式会社	秋田ヤナセ株式会社	アシックス	株式会社板橋組
株式会社伊藤園秋田支店	医療法人敬徳会 藤原記念病院	医療法人あけぼの会 花園病院	医療法人光智会
医療法人祐愛会 加藤病院	羽後設備株式会社	羽後電設工業株式会社	羽後日産モーター株式会社
えちごやクリニック	株式会社エル・アンド・デー	N P O 秋田R G 愛好会	有限会社奥州食品
大塚製菓	大原旅館	株式会社オールホンダ	株式会社男鹿興業社
男鹿ゴルフクラブ	カーククリーンイスト	株式会社加藤組	加藤商事株式会社
有限会社河辺不動産鑑定所	株式会社寒風	株式会社北日本リース	キャタピラー東北株式会社
協和石油株式会社	株式会社グレイスランド	研修のリファイン	竹半スポーツ
有限会社小西タイヤ	コマツ秋田株式会社	株式会社ササキボデー	佐藤養助商店
株式会社沢木組	株式会社三共サービス	三和興業株式会社	株式会社シーエフシー
有限会社俊光建機	株式会社 荘内銀行秋田支店	株式会社スーパートゥデイ	株式会社菅与組
株式会社鈴木空調機器	瀬下ワールドファミリー会	太平興業 株式会社秋田支店	株式会社大雄建設
株式会社大洋石油店	タプロス株式会社	ツカダ商会	東京美装興業株式会社 鹿角事業所
東芝電材マーケティング株式会社東北支社 秋田支店 秋田営業所		東北電材株式会社	東北電設販売株式会社
東北ミツワ電機株式会社 秋田支店	有限会社東立	株式会社トーセキプロダクツ	中田建設株式会社
株式会社仲村保険サービス	西村土建株式会社	N I P P O 秋田統括事業所	ネオス 株式会社秋田営業所
株式会社八郎瀉印刷	花岡土建株式会社	東日本コベルコ建機株式会社	菱明三菱電機機器販売株式会社
株式会社備品レンタルセンター	有限会社深沢電装	株式会社藤通商	有限会社船貞工業
ベストトラベル大曲営業所	北都銀行	有限会社本庄建設	株式会社松原印刷社
株式会社マリーナ秋田	株式会社丸栄堂	マルト建設株式会社	有限会社丸ノ内サービス
みちのくキャンティーン株式会社	みちのくコカ・コーラボトリング株式会社 秋田営業所		三ツ星商会秋田支店
三ツ星館	B I G パーガー	ミズノ	株式会社むつみワールド
有限会社元木鋳金	有限会社桃山	山下商事株式会社	ユーアイ警備保障
ユナイテッド計画株式会社	有限会社ユニバース	吉本眼科医院	L a d y M . I
ロイヤルモーター株式会社			

個人

伊藤 キヨエ	伊藤 美佐夫	今川 和輝	宇賀神 明	利部 浩	加藤 義光
木村 了	今 善 昭	佐々木 岩 男	佐々木 茂	佐藤 正 雄	佐藤 正 光
眞坂 廣 男	宮越 智 也	山下 亨	須田 精 一	高橋 健 一	能登屋 進
船木 隆 夫					

※あいうえお順
 ※敬称略
 ※9月10日受付けまで

「スポーツ立県あきた」を援キャラクター『スパッキー』グッズ

 <p>■ポロシャツA ¥3,000 ポリエステル65% 綿35% シルケットハニカム プリント加工</p>	 <p>■ポロシャツB ¥2,500 ポリエステル100% 刺繍加工</p>	 <p>■キャップ ¥1,500 フリーサイズ</p>	 <p>■フェイスタオル ¥800 綿100% 34cm×85cm</p>
 <p>■Tシャツ ¥1,800 ポリエステル 100% プリント加工</p>	 <p>■スウェットシャツ ¥4,000 綿60% ポリエステル40% 刺繍加工</p>	 <p>■ステンレスクリップ ¥600 2枚/組</p>	 <p>■アクリルストラップ ¥700</p>
		 <p>■リストバンド ¥500 H:9cm×W:8cm</p>	 <p>■ゴルフマーカー ¥1,000</p>
			 <p>■ソーラーライトキーホルダー ¥600</p>

詳細については、秋田県体育協会のホームページ (<http://www.akitaikyo.or.jp>) でご案内しております。

販売店 竹半スポーツ(秋田市) TEL. 018-862-4737 FAX. 018-862-4752

スパッキー
オフィシャルグッズの
販売を開始しました。



車用ステッカー ¥700 8.5cm×21cm



会社用ステッカー ¥900 20cm×50cm

※ 詳しくは秋田県体育協会ホームページ
<http://www.akitaikyo.or.jp/> をご覧ください。

県体協事務局だより

会議録(抄)

- | | | |
|---|---|---|
| <p>9月5日 第3回総務委員会
・第2回定例理事会の議案について</p> <p>9月5日 第2回定例理事会
・インターハイ、東北総合体育大会の結果について
・業務執行理事の業務報告について
・第67回国民体育大会秋田県選手団結団式について
・寄附金の申込み状況について
・秋田県体育協会創立90周年記念誌編集委員会の設置について
・スポーツ少年団倫理委員会の審査結果について
・「国体活性化プロジェクト・中間報告」に</p> | <p>対する書面調査の回答について(案)
・第67回国民体育大会秋田県選手団本部役員について(案)</p> <p>9月19日 第3回事業委員会
・各加盟団体からの要望事項に対する対応について
・寄附金の申込状況について
・スポーツ立県あきた推進キャンペーンについて</p> <p>9月26日 第1回秋田県体育協会創立90周年記念誌編集委員会
・80周年記念誌の概要について
・90周年記念誌の編集方針について
・作成スケジュール(案)について</p> | <p>10月29日 第11回日韓青少年冬季スポーツ交流事業実行委員会
・申込状況について
・今後の日程について
・冬季交流事業の企画・提案の実施について
企画・提案の実施方法について
企画・提案の審査委員について</p> <p>11月20日 第2回秋田県体育協会創立90周年記念誌編集委員会
・90周年記念誌の編集方針について
編集項目について
特集テーマについて
役割分担について</p> |
|---|---|---|



いよいよ日本中が冬本番へと表情を変えつつある最近ですが、スポーツでもまた『いよいよ出番だ!』と、その待ちわびた思いをぶつける様に、それぞれの競技がにわかに動き出しています。2月16日(土)から始まる『あきた鹿角国体2013』。秋田のお家芸であるスキー競技には今回も大いに活躍が期待されます。そして、冬季国体より一足先にもう一つ、高校生たちの冬のドラマがやって来ます。バレーボール、サッカー、バスケットボール、駅伝、ラグビーフットボールの全国大会、こちらでも決して目が離せません。

スポーツは、軽く汗を流す程度から世界を魅了するトップスポーツまで幅広く、ことアスリートたちの活躍は多くの感動と夢を、それを見る人々へ与えます。ここ秋田からも、今は小さい感動の種たちが、この厳しい季節を乗り越えていつかたくさん芽吹くことを期待してやみません。

最後に、お忙しい中、取材の協力や原稿執筆を頂きました皆様、写真を提供くださいました秋田魁新報社様、御協力ありがとうございました。

編集者 安田 竜 勝田 慎 熊林 孝
新林 美保 菅生 由我

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C. 三本コーヒー株式会社

秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35
TEL 018(865)5461 FAX 018(888)1721

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

駄菓子・クジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 木村 了
税理士 進藤 俊作

本店／秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022(代)
山王事務所／秋田市山王六丁目1番1号 山王ビル2F Tel.018-863-7868

建設資材・建物解体工事・産業廃棄物運搬



株式会社 **松 田**

本社／湯沢市鶴館39-4 セントラルビル1F ☎0183-73-0188(代)
秋田支店／秋田市川尻大川反232-4 ☎018-823-3790(代)
秋田南営業所／秋田市仁井田古川向144-1 ☎018-839-9211(代)



輝きを汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター

アリナス

スポーツ 合宿 研修 … に

アリーナ 宿 泊 室
トレーニングルーム 温泉 スト ラ 場
温水プール 温泉 泉 浴
研修室 (サウナ有)
ミーティングルーム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322
<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/kouryuu/arinasu/list.html>



JA全農あきた 〒010-8558 秋田市八橋南二丁目10-16
TEL018-864-2401

掛金が改定
されました

スポーツ安全保険

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

5+
5名以上の団体で
ご加入ください

写真提供 空手道マガジン月刊「JKFan」
毎月23日発売 <http://jkfan.jp/>

対象となる事故 **団体活動中の事故／往復中の事故**

保険期間 平成24年4月1日午前0時より平成25年3月31日午後12時まで(申込受付は平成24年3月から)

加入区分・掛金・補償金額 **掛金が改定されました** (団体活動を行う5名以上の方で、加入区分をそれぞれご選択のうえご加入ください。)

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども (中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。)	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	葬祭費用 180万円
				100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	対象と なりません
大人 高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動 団体の送迎、応援、準備、片付け	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どものスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体に1回しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。

※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。 [Web](#) [スポーツ安全協会](#) [検索](#)

財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部

(秋田県体育協会内)

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター内 TEL 018-883-0360 電話受付時間:午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険およびスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際は、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険株式会社までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133 (平日9:00～17:00)
(共同引受保険会社(平成24年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上
平成24年1月作成 11-T-09434